

太田市内遺跡 17

— 令和2年度調査 —

2022

群馬県太田市教育委員会

はじめに

太田市は、関東平野の北部に位置し、利根川と渡良瀬川に挟まれた豊かな自然と文化や産業が調和したまちです。

市域の東部には東日本最大の前方後円墳である天神山古墳や、重要文化財に指定された形象埴輪が出土した塚廻り古墳群などの著名な古墳がつくられました。また、中央やや北には、東山道駅路や古代の役所である新田郡家が置かれ、中世には金山丘陵から西に新田荘が成立し栄えました。そして、戦国期に築かれた金山城は難攻不落の名城とされています。

本書は、令和2年度に実施した市内のさまざまな開発事業に伴う確認調査の結果をまとめた報告書です。今回は、民間開発等70件以上の調査を行いました。是非、本書を色々な場面でご活用ください。

私達は、先人の残した遺産を調査し、整理・保存・活用していくことが歴史解明の一助となり、文化の薫り高い豊かなまちづくりの推進をになうものと確信しております。

最後になりましたが、調査を実施するにあたりご指導・ご協力を賜りました関係各位、また寒暑の中、発掘調査に参加していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

令和4年3月

太田市教育委員会
教育長 恩 田 由 之

例 言

- 1 本書は、太田市教育委員会が国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金と群馬県文化財保存事業費補助金を得て実施した「市内遺跡発掘調査」の概要をまとめた報告書である。
- 2 調査は、太田市教育委員会が令和2年度に実施し、整理作業は令和3年度に実施した。
- 3 本書は、「市内遺跡発掘調査」によって調査を実施した遺跡の調査地について調査概要を掲載している。
- 4 調査の期間および組織体制は以下のとおりである。

期 間 令和2年4月7日から令和3年3月22日まで(なお、大規模開発又は令和2年11月以降は、市単独費用で確認調査を行った。)

調査主体者 太田市教育委員会 教育長 恩田由之

調査担当者 太田市教育委員会 教育部 文化財課

係長代理 長谷川幸男、遠坂純伸、主任 岩松大輔、上野優真、主事 岩井直人

調査事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 春山裕 副部長 江原孝育、橘原明憲

文化財課 課長 島田孝雄 課長補佐 静野勝信 係長代理 清水陽子

会計年度任用職員 長谷川理子、本間敏夫

- 5 整理作業の期間および組織体制は以下のとおりである。

期 間 令和3年5月6日から令和3年9月30日まで

調査主体者 太田市教育委員会 教育長 恩田由之

調査担当者 太田市教育委員会 教育部 文化財課

係長代理 長谷川幸男、遠坂純伸 主任 岩松大輔、主事 岩井直人

調査事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 春山裕 副部長 大谷健、武井英伸

文化財課 課長 島田孝雄 課長補佐 静野勝信 係長代理 清水陽子

会計年度任用職員 長谷川理子、本間敏夫

- 6 本稿の執筆・編集は長谷川幸男が担当した。
- 7 本書に掲載した遺構の写真は各調査担当者が撮影した。
- 8 本書に関わる資料ならびに遺物は太田市教育委員会で保管している。
- 9 発掘調査ならびに整理作業に携わった作業員は下記のとおりである。

相澤安正、遠坂優、大澤孝雄、大竹哲夫、加々美忠彦、鎌須賀伸彦、菊池祥裕、北爪勇次、北原広志、佐瀬隆一、山銅隆夫、塩月隆夫、柴田弘信、白石孝、高橋芳樹、田中三男、長谷川健二、林一雄、丸谷了司、宮谷吉政、茂木進、山本眞夫、大坪春美、木村純子

凡 例

- 1 位置図等にベースマップとして都市計画図（太田市都市計画課 平成28年度作製）を使用した。
- 2 調査地点位置図の方位は上が北、トレンチ配置図の方位は図中表示した。
- 3 確認調査全体図あるいは出土遺物実測図のスケールは各図の下端などに表示した。

目 次

はじめに

例 言

凡 例

目 次

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 調査の方法および経過	2
第3章 遺跡の位置と歴史的環境	2
第4章 調査の成果	6
第5章 まとめ	103

写真図版

報告書抄録

第1章 調査に至る経緯

令和2年度における各種開発事業のうち公共事業については、前年度（令和元年度）に各部局に対し事業照会を行い、公共工事計画の情報入手に努めた。一方、民間開発については、事前問い合わせを窓口で対応し、その都度埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行った。

試掘・確認調査は、文化財等保存・活用事業費国庫補助金や群馬県文化財保存事業費補助金を受けて「市内遺跡発掘調査」として事前調査を実施し、開発事業との調整を図ることとした。また、開発範囲が狭小で通常の確認調査の実施が不可能な場合、開発工事の途中で遺構の有無や掘削深度などを確認する工事立会を実施した。

なお、試掘・確認調査の結果、遺構が確認され現状保存が困難な場合、記録保存のための本調査を実施した。



第1図 太田市全図

第2章 調査の方法および経過

太田市における各種開発事業に伴う埋蔵文化財取り扱いの調整については、次のような方法で実施した。まず、事業照会や事前問い合わせにより開発計画の情報を得て、その開発予定地が埋蔵文化財包蔵地内であるかどうか太田市埋蔵文化財包蔵地図をもとに判断をした。包蔵地内にある場合、事業者に「埋蔵文化財発掘の届出・通知」の提出を要請し、その開発内容により「慎重工事」・「工事立会」・「確認調査」の指導をした。

確認調査の場合は、「確認調査依頼書兼発掘承諾書」の受理後、日程の調整をして、申請人あるいは申請代理人の立会のもと調査を実施した。調査時には、対象となる土地の地形や形状または開発内容を考慮した上で調査区を設定し、遺構確認面まで掘削機等で掘り下げた。遺構の有無、遺構の内容は、人力による精査で把握した。記録は平面図・断面図等を作成するほか、35ミリカラーネガフィルムおよびデジタルカメラにて写真撮影を行った。確認調査後は埋め戻しを行い、沈下を防ぐため充分に転圧をして現場を引き渡した。

調査後の整理作業については、これらの調査によって出土した遺物の洗浄・注記・接合・実測や、図面の修正・トレース・編集などを行い、翌年度に報告書『市内遺跡発掘調査』の刊行を行うこととしている。

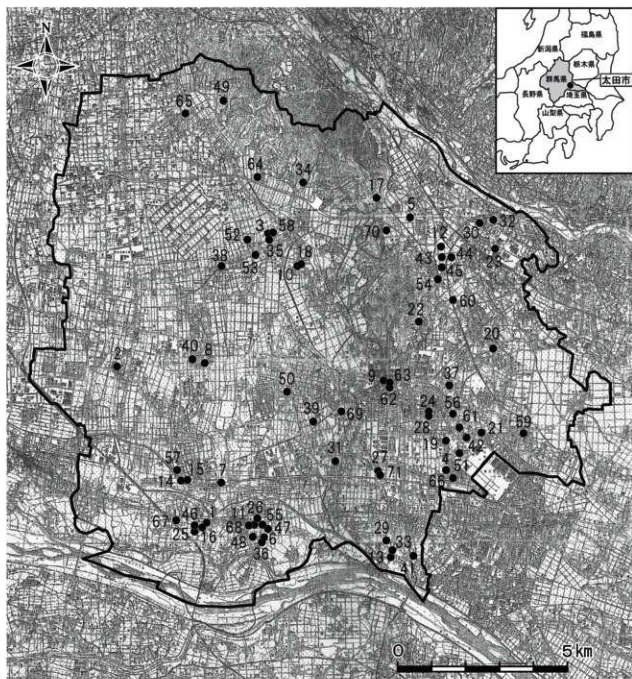
当市の令和2年度における事前問い合わせ件数は公共・民間あわせ合計2,439件であった。そのうち、遺跡地内で開発行為が計画され、埋蔵文化財発掘の届出・通知が提出されたのは合計708件であった。確認調査総数は71件で、そのうち「市内遺跡発掘調査」として国および県費補助金を得て実施した試掘・確認調査件数は合計42件であった。なお、残り29件については市単独費用で調査を実施した。「市内遺跡発掘調査」における開発目的の内訳は、公共事業では区画整理道路2件、道路改良1件、体育館1件、ほ場整備1件であった。一方、民間開発では個人住宅8件、建売住宅7件、集合・共同住宅8件、店舗2件、太陽光発電施設8件、宅地分譲・造成8件、倉庫8件、福祉施設3件、保育施設2件、農地整備1件、東屋1件、納骨堂1件、駐車場3件、工場1件、組合による区画整理道路等5件であった。

第3章 遺跡の位置と歴史的環境

太田市は、北東部を渡良瀬川、南部を利根川に接し、また、北部中央に八王子丘陵、市域中央に金山丘陵が広がっている。八王子・金山丘陵東側の毛里田、菰川、休伯地区には渡良瀬川扇状地が広がり、旧河道地形や沖積低地が発達し複雑な地形をしている。一方八王子丘陵西側の藪塚東部・西部地区以南には大間々扇状地が広がり、扇状地の端部付近に位置する綿打、生品地区からは湧水が流れ出し、古代より生活の源水として利用されている。市中央部の金山丘陵周辺には広大な平地が広がり、洪積台地や沖積低地が形成されている。利根川に面する市南西部の尾島地区は、旧利根川の流路にあたる部分であり、榛名二ツ岳の噴火による噴出物の洪水堆積層によって遺跡が覆われている。

令和2年4月1日現在で太田市全体としては、965遺跡が確認されており、これらを主な時代ごとの多い順に列挙すると、古墳時代が最も多く、ついで奈良・平安時代、中世、縄文時代、近世、弥生時代、旧石器時代となっている。

令和2年度「市内遺跡発掘調査」として実施した調査地の概要について、次ページの地図及び一覧表にまとめた。



- 1・16・25・26・46 F P泥流下遺跡群 2 上江田城館跡 3・35・53・58 天良七堂遺跡 4 東別所遺跡 5 寺中遺跡
 6・11・36・47・48・55・68 東部地区遺跡群 7 長福寺遺跡 8 要害遺跡 9・62・63 浜町遺跡 10・18 上遺跡
 12 東今泉鹿島遺跡、鹿島浦遺跡、推定東山道駅路南ルート 13 五庵遺跡 14・15 粕川山之神遺跡 17 村上遺跡
 19 飯塚古墳群 20 新堀遺跡 21 川向・中西田遺跡 22 寺ヶ入古墳群 23 推定東山道駅路南ルート
 24・28 飯塚古墳群、条里制水田想定地 27・71 八反田遺跡 29・33 梁場遺跡 30 新島遺跡
 31 細谷東遺跡、細谷八幡遺跡 32 道原遺跡 34 駒形神社埴輪窯跡 37 目塚遺跡 38 入谷遺跡 39 宮元遺跡
 40 反町城館跡 41 古戸赤城遺跡 42・61 房塚遺跡 43・44 東今泉鹿島遺跡 45・54 宿裏遺跡 49 諏訪山古墳群
 50 北之庄遺跡 51 運動公園内遺跡 52 堀廻遺跡 56 内ヶ島古墳群 57 花園遺跡 59 能舞落打遺跡 60 原店遺跡
 64 西長岡宿古墳群 65 萩林遺跡 66 東別所西原遺跡 67 安養寺森ノ内遺跡 69 中道西遺跡
 70 古米条里制水田跡、古水遺跡

第2図 令和2年度調査地位位置図

表1 令和2年度 市内道路発掘調査 調査地一覧表(補助金対象)

No.	受付 No.	ID	所在地	道路名	開発原因	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査結果	備考
1	12	23981	亀岡町467-1	FP 鹿流下遊群	倉庫建設	996	74	4月7日	遺構 なし	本調査なし
2	13	23982	新田上江田町924-5	上江田駅前跡	個人住宅	774	28	4月9日	遺構 土坑2基,ピット3基 縄文時代,古墳時代の土器片	本調査なし
3	14	23983	天良町124-5	天良七堂遺跡	個人住宅	330	22	4月15日	遺構 なし	本調査なし
4	15	23984	東条町503-1,503-2の各一部	敷別所遺跡	共同住宅	907	50	4月16日	遺構 土坑3基,溝2条 平安時代,近世の土器片	本調査なし
5	50	26043	矢田町387-3	寺中遺跡	露天駐車場建設	1,272	92	4月21日	遺構 土坑1基	本調査なし
6	56	26049	岩松町263,264(47街区4,8)	東部地区遊群	建売住宅	1,502	99	4月23日	遺構 竪穴建物跡1軒,土坑1基,溝8条,土坑分溝,ピット4基 なし	本調査なし
7	72	26081	下田島町 地内(宝泉寺部) 土地画整理地区内(区道沿 6-50号線)	長福寺遺跡	区画整理	573	42	4月23日	遺構 土坑2基	本調査なし
8	57	26051	新田町458-7	賀吉遺跡	個人住宅	263	13	4月27日	遺構 竪穴建物跡3軒,溝2条,土坑3基,ピット5基 古墳時代の土器片	本調査なし
9	99	26120	本町地内	浜町遺跡	区画整理	321	16	5月8日	遺構 溝1条 なし	本調査なし
10	71	26080	島山上町2223-1,2223-4の各一部	上遺跡	宅地造成	932	30	5月12日	遺構 土坑1基,溝1条 なし	本調査なし
11	102	26123	阿久津町地内	東部地区遊群	区画整理	236	22	5月15日	遺構 ピット1基	本調査なし
12	76	26088	東今泉町464-114か20番	東今泉遺跡,鷲島清遺跡, 塚定東山道駅路南ルート	倉庫建設	43,646	1,800	5/13,25, 27,28, 33	遺構 竪穴建物跡3軒,土坑7基,溝13条,ピット7基,河内国産銅子器 縄文時代,古墳時代の土器片及び古 銭,縄文時代の石皿,埴輪片	R2年度に本調査を実施
13	105	26126	高林南町193-2,194-1,201-1	五坂遺跡	太陽光発電	3,438	133	5月21日	遺構 竪穴建物跡1軒,溝2条,土坑2基,ピット3基 なし	本調査なし
14	110	26133	船川町281-5,282-4,-5,-6,-283-5	船川山之神遺跡	太陽光発電	2,310	95	5月25日	遺構 竪穴建物跡3軒,溝4条,土坑11基,ピット15基 古墳時代の土器片,石製雑道具	本調査なし
15	111	26134	船川町280-2,280-3,280-4,-5,-6,-7,-8,282-2,281-3,-4,-5,-6,-7,-13,-14,-15,-16,-17,-18	船川山之神遺跡	太陽光発電	3,620	161	5/26~ 27	遺構 竪穴建物跡3軒,溝2条,土坑15基,ピット15基 なし	本調査なし
16	139	26190	亀岡町518-1,520-2,521-1,524	FP 鹿流下遊群	宅地造成	2,054	74	6/3~ 4	遺構 なし	本調査なし
17	146	26200	吉沢町 地内	村上遺跡	農地整備	33,085	238	6/8~ 12,15~ 16	遺構 土坑1基,溝13条,ピット2基 古墳時代の土器片,打石斧	本調査なし
18	253	26388	島山上町2224-1	上遺跡	宅地造成	1,657	74	6月15日	遺構 土坑4基,ピット1基 なし	本調査なし
19	190	26276	飯塚町915-1の一部	飯塚古墳群	集合住宅	943	55	6/23~ 24	遺構 古墳の周溝1条,竪穴建物跡3軒, 土坑5基,ピット4基 古墳時代の土器片,埴輪片	本調査なし
20	177	26246	谷之舞町894-1	新堀遺跡	宅地分譲	2,151	126	6月23日	遺構 なし	本調査なし
21	328	26338	内ヶ倉町235-259(一部,236-1,-2の-3部,237-1,-3,-4,-5,237-4部先)	川向・中西田遺跡	宅地造成	521	33	6月29日	遺構 竪穴建物跡2軒,土坑8基,溝2条 古墳時代,平安時代の土器片	R2年度に本調査を実施
22	119	26152	金余井町136,597-1,-2,598,599,601,602,603,617-1,1866,1869-2,2346	寺ヶ入古墳群	太陽光発電	5,964	86	7/13, 15~16	遺構 古墳の周溝1条,土坑11軒 土坑2基,溝1条,ピット4基 古墳時代の土器片,埴輪片及び古 銭の土器片	本調査なし
23	279	26440	東新町831	塚定東山道駅路南ルート	倉庫建設	88,571	25	7月20日	遺構 なし	本調査なし
24	53	26046	小舞木町456-1	飯塚古墳群,金里新水田想定地	宅地分譲	1,600	46	7/28~ 29	遺構 溝1条,土坑7基,ピット1基 なし	本調査なし
25	49	26042	亀岡町675-1,-2,676-2	FP 鹿流下遊群	建売住宅	3,454	113	8/18~ 20	遺構 土坑10基,ピット3基 なし	本調査なし
26	379	26645	阿久津町79-2,84-2,-4,117-7,-12	FP 鹿流下遊群	倉庫建設	3,914	26	8月24日	遺構 土坑1基 近世の古銭	本調査なし
27	375	26636	下風町219-1,221	八反田遺跡	建売分譲	2,181	74	8月31日	遺構 溝3条 なし	本調査なし
28	202	26294	小舞木町328-1	飯塚古墳群,金里新水田想定地	店舗	1,884	14	9月1日	遺構 溝1条 古墳時代の土器片	本調査なし
29	535	26930	高林南町283-25,288-6	塚場遺跡	特別養護老人ホーム	3,990	94	9月3日	遺構 土坑5基,溝7条 なし	本調査なし
30	506	26872	只上町1347-8,1350-5	新島遺跡	露天資材置場	2,937	70	9月8日	遺構 なし	本調査なし
31	251	26385	瀬谷町163-3,-4	瀬谷東遺跡,瀬谷八幡遺跡	太陽光発電	1,031	52	9月8日	遺構 竪穴建物跡1軒,土坑5基,溝1条 古墳時代の土器片,埴輪片	本調査なし
32	582	27016	只上町1665-5	塩原遺跡	集合住宅	2,738	20	9月14日	遺構 なし	本調査なし
33	249	26383	高林南町236-4,238-1,-5,239-1,-5,240-1,-5,242-1	塚場遺跡	保育施設	2,058	82	9/28~ 29	遺構 竪穴建物跡1軒,土坑7基,ピット2条 縄文,古白,平安時代の土器片	本調査なし
34	51	26044	北金井町409-1,-2,-4,-5,422-1,1372-9	駒形神社埴輪塚跡	太陽光発電	2,737	82	9/30~ 10/2	遺構 埴輪塚跡1基,土坑1基 古墳時代の埴輪片	本調査なし
35	574	27000	天良町130-15	天良七堂遺跡	個人住宅	238	7	10月5日	遺構 竪穴建物跡1軒,土坑1基,ピット2条 縄文,古墳時代の土器片	本調査なし
36	515	26887	堀口町152-1,-4,-5,-6,-11,-12	東部地区遊群	集合住宅	573	18	10月9日	遺構 溝1条 なし	本調査なし
37	500	26864	内ヶ倉町1596の一部	日塚遺跡	個人住宅	696	9	10月13日	遺構 古墳の周溝1条 古墳時代の埴輪片	本調査なし

No.	受付No.	ID	所在地	道 路 名	開発原因	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査結果	備考
38	589	27025	新田村田町2006-1	入谷道跡	建売住宅	1,218	80	10月15日	遺構遺物 溝1条、ビット3基 奈良時代の土器片	本調査なし
39	551	26959	由良町182-1、-3	宮元道跡	太陽光発電	1,491	37	10/21～22	遺構遺物 なし	本調査なし
40	237	26336	新田反町617-4	反町城跡跡	店舗併用住宅	433	13	10月21日	遺構遺物 柱穴1本、溝2条、土坑1基、 中世の土器片	本調査なし
41	641	27137	古戸町240-2、661-1	古戸赤城道跡	老人ホーム	980	17	10月26日	遺構遺物 土坑1基、溝1条、ビット3基 古墳時代の土器片	本調査なし
42	522	26907	内ヶ島町606-1	塚原道跡	建売住宅	2,361	75	10/29～30	遺構遺物 竪穴建物跡2軒、土坑4基、溝3条、 ビット5基、遺物集積中世以降 古墳時代の土器片	R2年度に本調査を実施

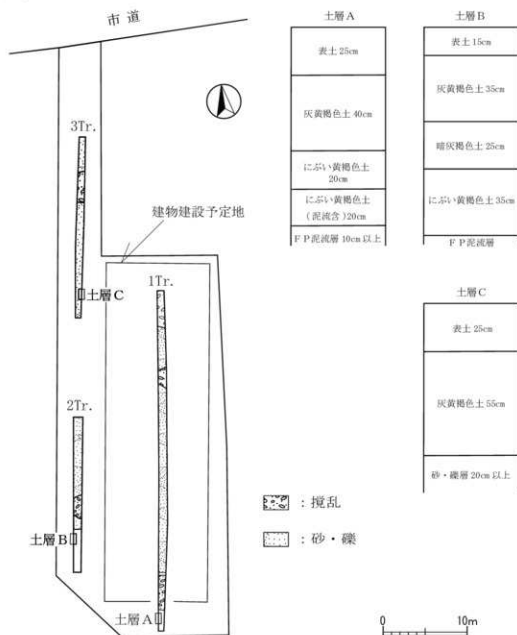
表2 令和2年度 市内遺跡発掘調査 調査地一覧表(補助金対象外)

No.	受付No.	ID	所在地	道 路 名	開発原因	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査結果	備考
43	218	26317	東今泉町368-1ほか34基	東今泉鹿島道跡	倉庫建設	34,548	1,700	7/2～3 8/1、4、6、7、12、12	遺構遺物 竪穴建物跡3軒、土坑106条、溝38条、 ビット114基 縄文時代、古墳時代～近世の土器片	R2年度に本調査を実施
44	354	26591	東今泉町211番ほか27基	東今泉鹿島道跡	倉庫用地	44,317	921	10/6～7、 9、12/16 17～23	遺構遺物 竪穴建物跡37軒、土坑37基、溝9条 縄文時代、奈良～平安時代の土器片	R2～3年度に本調査を実施
45	355	26592	東今泉町16番ほか	留置道跡	倉庫用地	12,027	154	10/26～27	遺構遺物 竪穴建物跡3軒、土坑5基、溝2条、 ビット5基、土坑1基 縄文時代の土器片	本調査なし
46	658	27163	亀岡町679ほか地先	FP配下区道跡群	道路改良	128	18	10月28日	遺構遺物 なし	本調査なし
47	560	26977	岩松町 地内	東部地区道跡群	区画整理	650	13	11月4日	遺構遺物 なし	本調査なし
48	792	27444	堀口町 地内	東部地区道跡群	区画整理	209	16	11/5～6	遺構遺物 溝1条、土坑1基、ビット3基 なし	R2年度に本調査を実施
49	371	29627	新塚町366-1、3570-1、 3572-1	諏訪古墳群	露天資材置場	2,058	72	11月5日	遺構遺物 なし	本調査なし
50	698	27245	由良町1693-2の一部、-4	北之区道跡	集合住宅	920	32	11月9日	遺構遺物 土坑11基、溝2条、ビット4基ほか 中世の土器片	本調査なし
51	867	27585	飯塚町1059-1	運動公園内道跡	市民体育館	7,500	78	11/16～17	遺構遺物 溝1条、土坑2基 平安時代の土器片	本調査なし
52	800	27461	新田小金井町1665-5、-7	堀廻道跡	個人住宅	336	17	11月26日	遺構遺物 なし	本調査なし
53	516	26899	新田小金井町1501-3	北見七堂道跡	個人住宅	437	13	11月26日	遺構遺物 土坑2基、溝6条、ビット24基 なし	本調査なし
54	593	27029	東金井町1036-1、1037-1	新富道跡	宅地分譲	1,742	100	12月7日	遺構遺物 土坑7基、井戸1基 なし	本調査なし
55	895	27633	阿久津町 地内	東部地区道跡群	区画整理	210	20	12月10日	遺構遺物 溝2条、井戸1基、土坑11基、ビット 23基 平安時代の土器片	本調査なし
56	817	27492	内ヶ島町368-3、-4、372-1、 373-3	内ヶ島古墳群	工場	2,155	87	12/8～11	遺構遺物 竪穴建物跡2軒、土坑1基、 古墳時代の土器片	R3年度に立会調査を実施
57	562	26982	新田本郷町200-6	花園道跡	集合住宅	954	35	12月16日	遺構遺物 土坑4基、ビット5基 なし	本調査なし
58	932	27703	天良町124-1、-2、-3	天良七堂道跡	個人住宅	284	9	12月21日	遺構遺物 なし	本調査なし
59	81	26096	龍舞町2004-1	龍舞落打道跡	介護施設	2,770	146	1/13～14	遺構遺物 竪穴建物跡1軒、土坑28基、ビット 9基、溝1条 縄文時代、古墳時代、平安時代、近 世の土器片	本調査なし
60	1051	27938	東金井町880-1、-2、-3、884- 5、886、8881、893-1	原店道跡	倉庫・事務所	7,929	68	1/26～27	遺構遺物 溝1条 古墳時代から平安時代の土器片	本調査なし
61	915	27662	内ヶ島町600-2	塚原道跡	建売住宅	998	40	1月26日	遺構遺物 竪穴建物跡5軒、土坑12基、ビット 24基 縄文時代、古墳時代、奈良～平安時 代の土器片	本調査なし
62	741	27322	浜町22-2(太田駅周辺土地 区画整理事業23-3)	浜町道跡	集合住宅	993	24	1月28日	遺構遺物 溝3条、土坑8基、ビット4基 中世から近世の土器片	本調査なし
63	980	27797	浜町22-28(太田駅周辺土地 区画整理事業28-3-1)	浜町道跡	集合住宅	443	15	1月28日	遺構遺物 溝4条、土坑7基 なし	本調査なし
64	757	27358	西長岡町705-1、707、707-2	西長岡留古墳群	納骨堂、水屋	7,830	3	2月3日	遺構遺物 溝1条、土坑1基 古墳時代の土器片	立会調査予定
65	999	27827	新塚町1233-2	森林道跡	宅地分譲	1,974	119	2/18～19	遺構遺物 竪穴建物跡1軒、土坑15基、ビット 10基 奈良～平安時代、中世の土器片	本調査なし
66	881	27609	東河内町99-210-1、-2、-4、 232-2、-3、238-1の各一部 23216-4、-5、-7、239-2	東別所西原道跡	共同住宅の建築、宅 地造成	5,650	237	3/1、3～5、8	遺構遺物 竪穴建物跡16軒、溝8条、土坑11 基、ビット6基 古墳時代、平安時代の土器片	R3年度に本調査を実施
67	1136	28119	安養寺町199-9	安養寺南ノ内道跡 (安養寺垣跡)	東屋	24	4	3月11日	遺構遺物 土坑2基 中世の土器片	本調査なし
68	1165	28188	阿久津町ほか 地内	東部地区道跡群	区画整理	3,690	77	3/10～15	遺構遺物 溝2条、土坑10基、ビット15基 縄文時代、平安時代の土器片	R3年度に本調査を実施
69	977	27791	藤久阿久134	中道西原道跡	太陽光発電	3675	25	3月15日	遺構遺物 竪穴建物跡2軒、土坑1基、ビッ ト1基 奈良時代の土器片	本調査なし
70	1216	28279	神町地内	古水東里制水田跡	ほ場整備	3810	134	3/17～24	遺構遺物 土坑3基 古墳時代の土器片	調査継続中
71	1107	28076	下浜田町123-1	八反田道跡	建売住宅	3,944	61	3月22日	遺構遺物 なし	本調査なし

第4章 調査の成果

1 FP泥流下遺跡群 (R2No.12)

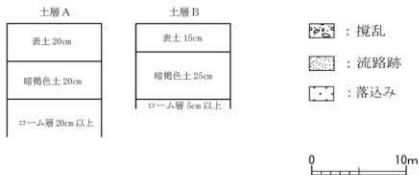
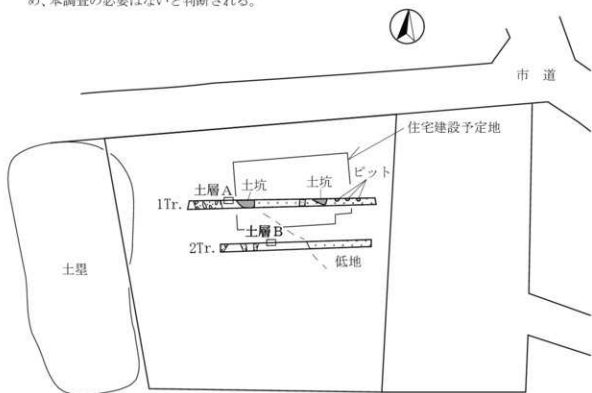
- ① 所在地 太田市亀岡町 467-1
- ② 調査原因 倉庫
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向のトレンチを3本設定し、F P泥流層又は砂・礫層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第3図 確認調査平面図・断面図

2 上江田城館跡 (R2No.13)

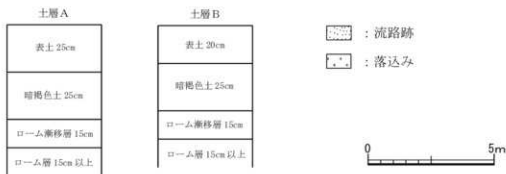
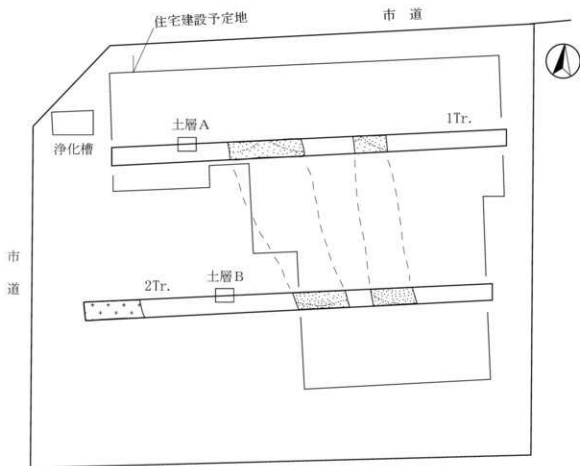
- ① 所在地 太田市新田上江田町 924-5
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑2基、ピット3基が確認され、縄文時代、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第4図 確認調査平面図・断面図

3 天良七堂遺跡 (R2No.14)

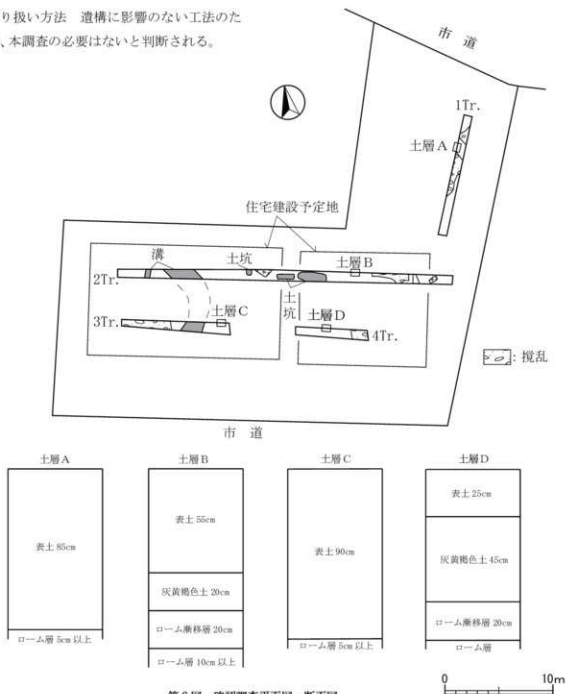
- ① 所在地 太田市天良町 124-5
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第5図 確認調査平面図・断面図

4 東別所遺跡 (R2No.15)

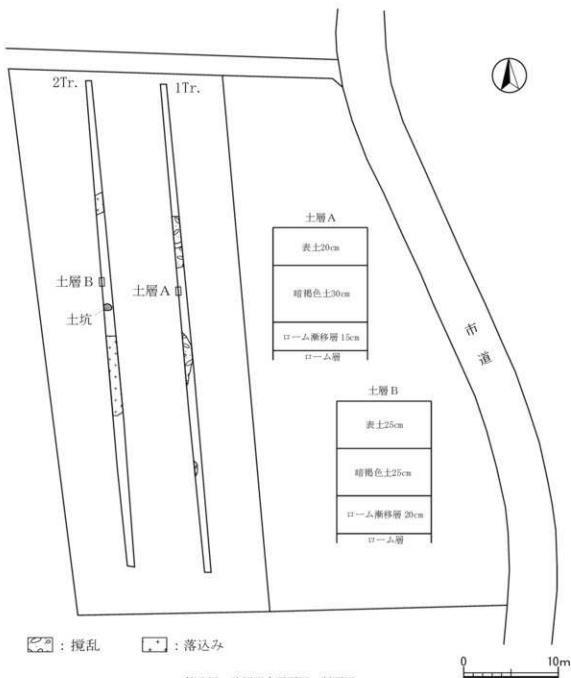
- ① 所在地 太田市東別所町 503-1、503-2 の各一部
- ② 調査原因 共同住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを4本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑3基が確認され、平安時代、近世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第6図 確認調査平面図・断面図

5 寺中遺跡 (R2No.50)

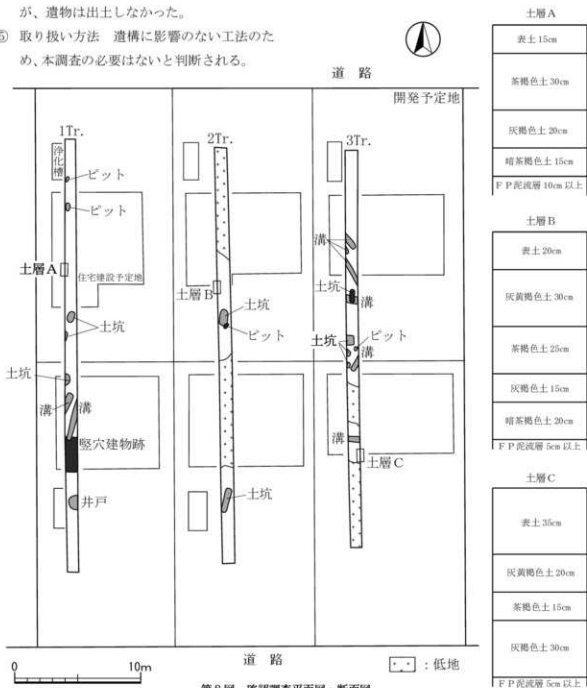
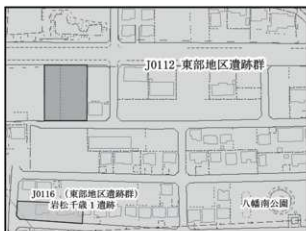
- ① 所在地 太田市矢田堀町 387-3
- ② 調査原因 露天駐車場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第7図 確認調査平面図・断面図

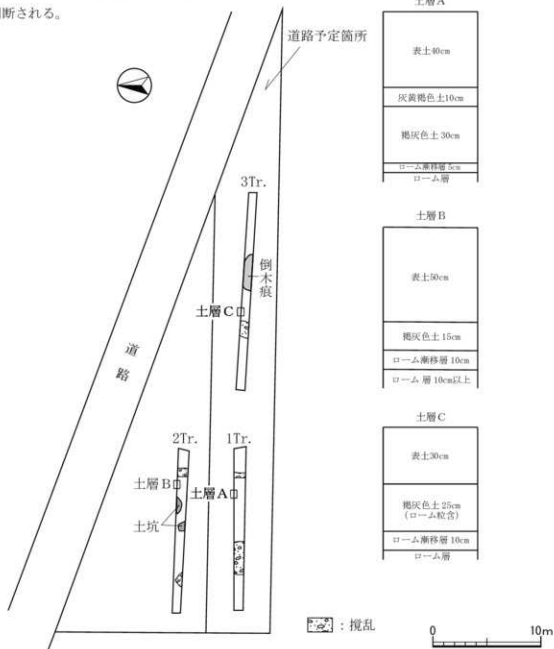
6 東部地区遺跡群 (R2No.56)

- ① 所在地 太田市岩松町 263、264 (47 街区 4、8)
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを 3 本設定し、F P 泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 1 軒、井戸 1 基、溝 8 条、土坑 9 基、ビット 4 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



7 長福寺遺跡 (R2No.72)

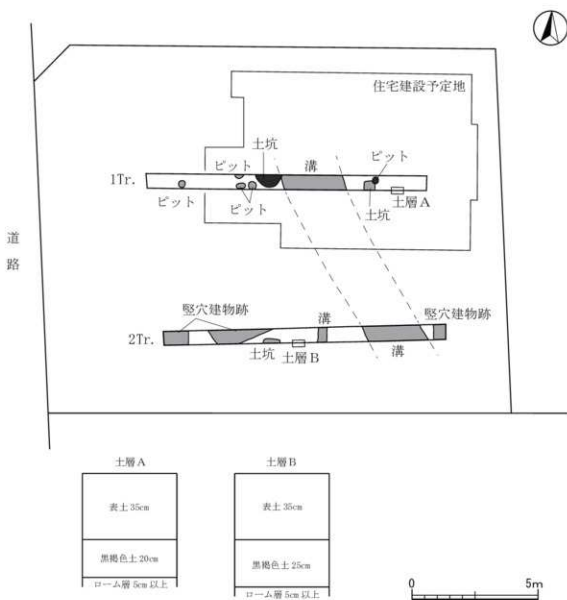
- ① 所在地 太田市下田島町地内 (区画道路 6・50 号線)
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを 3 本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑 2 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 道路築造部分では遺構が確認されなかったため、本調査の必要はないと判断される。



第9図 確認調査平面図・断面図

8 要害遺跡 (R2No.57)

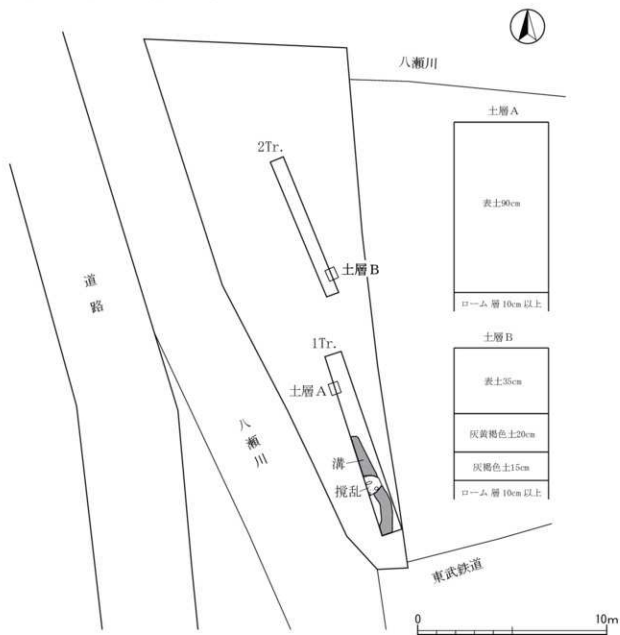
- ① 所在地 太田市新田反町 488・7
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡3軒、溝2条、土坑3基、ピット5基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第10図 確認調査平面図・断面図

9 浜町遺跡 (R2No.99)

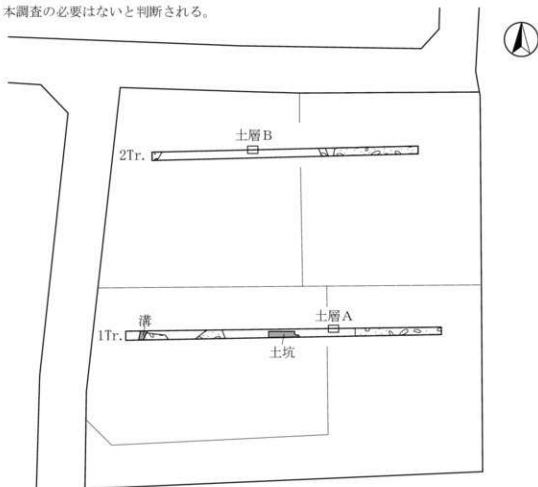
- ① 所在地 太田市本町地内（区画道路本町新井線）
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構のため、本調査の必要はないと判断される。



第11図 確認調査平面図・断面図

10 上遺跡 (R2No.71)

- ① 所在地 太田市鳥山上町 2223-1、-4 の各一部
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを 2 本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 1 条、土坑 1 基が確認されたが、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

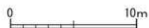


 : 攪乱

土層 A
表土 35cm
灰褐色土 30cm
ローム層 15cm以上

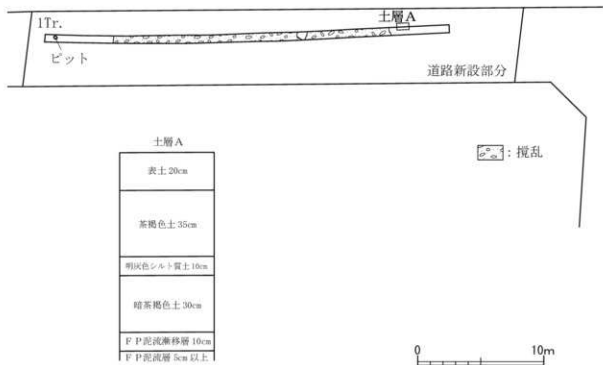
土層 B
表土 20cm
灰褐色土 30cm
ローム層 15cm以上

第12図 確認調査平面図・断面図



11 東部地区遺跡群 (R2No.102)

- ① 所在地 太田市阿久津町地内 (区画道路)
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを1本設定し、F P 泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 ビット1基が確認されたが、遺構は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構のため、本調査の必要はないと判断される。



第13図 確認調査平面図・断面図

12 東今泉鹿島遺跡、鹿島浦遺跡、推定東道駅路南ルート (R2No.76)

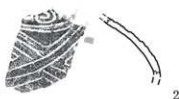
- ① 所在地 太田市東今泉町 464-1 ほか 20 筆
- ② 調査原因 倉庫建設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを 17 本設定し、ローム層まで掘下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 堅穴建物跡 8 軒、溝 13 条、土坑 37 基、ピット 78 基、道路遺構 2 条が確認され、縄文時代、古墳時代の土器片及び砥石が確認された。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響がある部分について、本発掘調査を実施した。



出土遺物 (11Tr.)



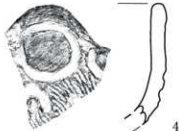
出土遺物 (2Tr.)



出土遺物 (11Tr.)

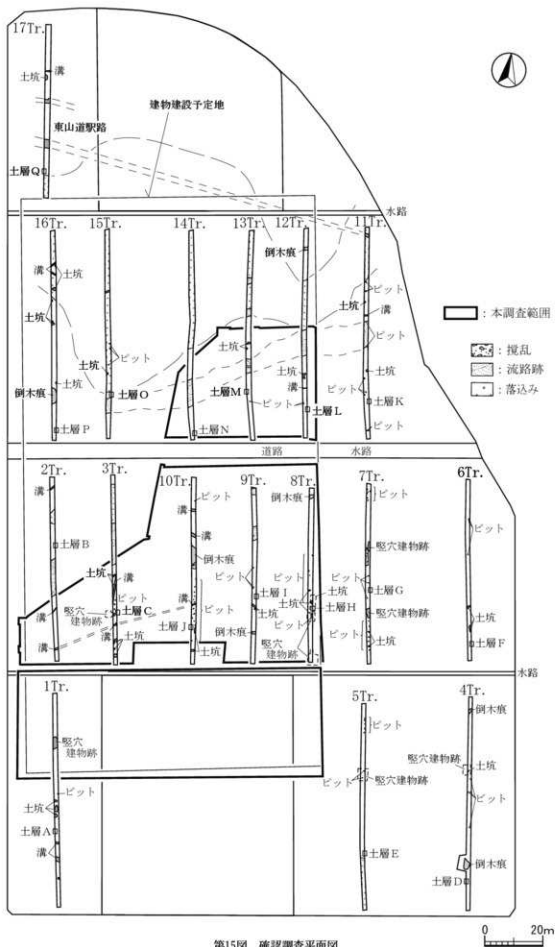


出土遺物 (10Tr.)

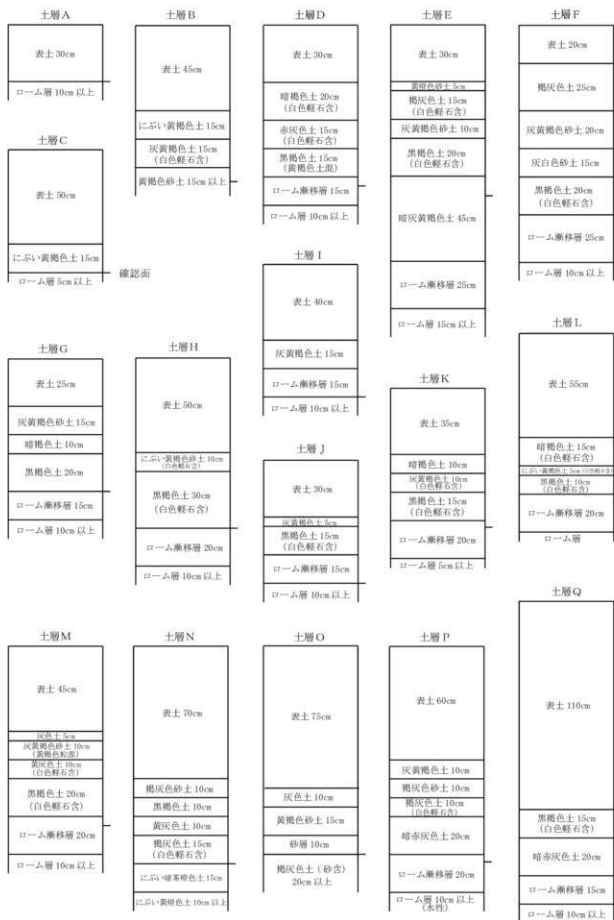


番号	器種	法量 [cm] (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	縄文土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: -	①普通 ②褐色 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④胴部破片	R.L.の縄文施文後、半蔵竹管による平行沈線と連続刺突文で区画する。区画内には円形刺突文を施す。	縄文前期後半
2	縄文土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: -	①普通 ②黄褐色 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部破片	沈線を横位・斜位に施し、差形文を構成する。沈線間には渦巻文を施す。	縄文前期後半
3	縄文土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: -	①普通 ②褐色 ③角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	口縁部に半蔵竹管による連続刺突文2段を横位に施す。その下段にはR.L.の縄文を施文。	縄文前期後半～末
4	縄文土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: -	①普通 ②明褐色 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	波状口縁の波頂部。口縁部上位は無文帯。口縁部下位は無筋のL縄文施文後、幅の広い沈線によって円形文を施す。	縄文中期後半

第14図 出土遺物実測図



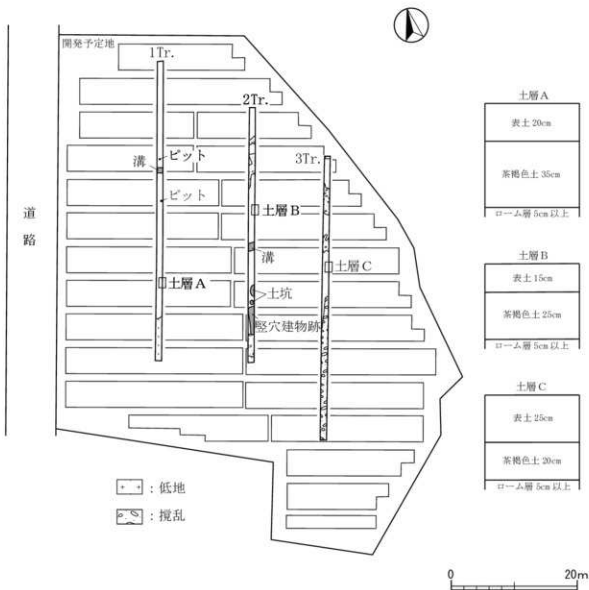
第15図 確認調査平面図



第16図 断面図

13 五庵遺跡 (R2No.105)

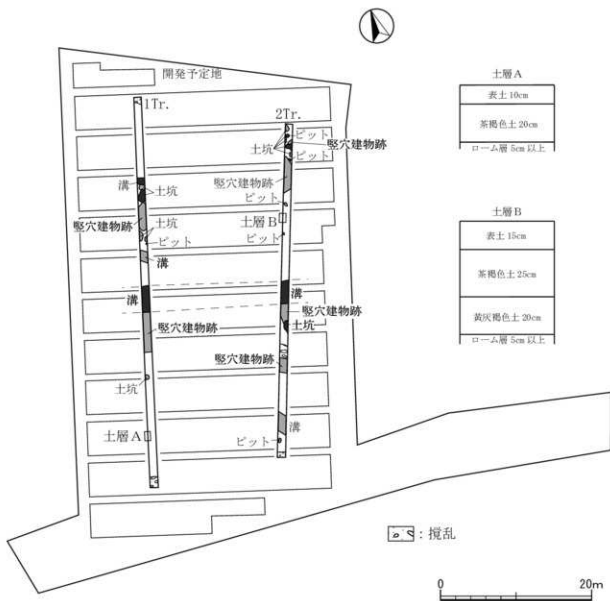
- ① 所在地 太田市高林南町 193-2、194-1、201-1
- ② 調査原因 太陽光発電施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡1軒、溝2条、土坑2基、ピット2基が確認され、縄文、古墳、奈良・平安時代の土器片、縄文時代の石器及び埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第17図 確認調査平面図・断面図

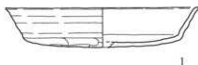
14 粕川山之神遺跡 (R2No.110)

- ① 所在地 太田市粕川町 281-5、282-4、-5、-6、283-5
- ② 調査原因 太陽光発電施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡6軒、溝4条、土坑11基、ピット6基が確認され、古墳時代の土器片、石製模造品が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

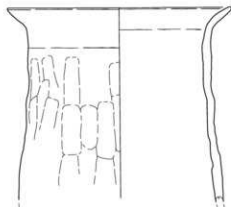


第18図 確認調査平面図・断面図

出土遺物 (2Tr. 北端堅穴建物跡)



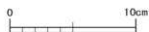
出土遺物 (2Tr. 北端堅穴建物跡)



出土遺物 (2Tr. 北端堅穴建物跡)



3

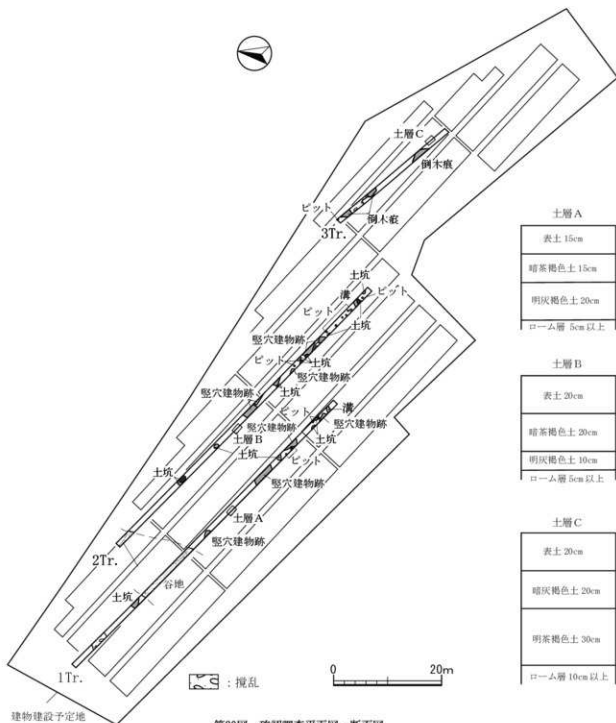


番号	器種	法量 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径：(15.2) 底径：— 器高：(3.0)	①普通 ②明褐色 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・褐色粒 ④1/4残存	外面 口縁部ココナデ。体部～底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ココナデ。体部～底部ナデ。	
2	土師器 甕	口径：17.8 底径：— 器高：—	①普通 ②明黄褐色 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④1/3残存	外面 口縁部～頸部ココナデ。胴部ヘラケズリ。 内面 口縁部～頸部ココナデ。胴部。摩擦慮しく調整不明瞭。	
番号	器種	法量 [cm・g] (残存)		特徴	備考
3	石製品 白玉	直径：1.5、孔径：0.4、厚さ：0.75、重さ：2.02		滑石製。	

第19図 出土遺物実測図

15 粕川山之神遺跡 (R2No.111)

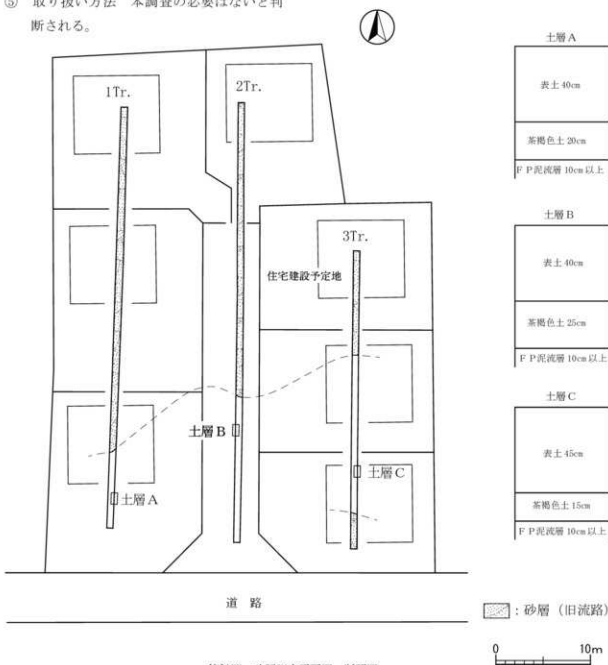
- ① 所在地 太田市粕川町 285-2、286-2、-3、287-1、-4、-5、-6、-7、-8、288-2、291-3、-4、-5、-6、-7、-12、-14、-15、-16、-17、-18
- ② 調査原因 太陽光発電施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡9軒、溝2条、土坑15基、ピット15基が確認されたが、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第20図 確認調査平面図・断面図

16 F P 泥流下遺跡群 (R2No.139)

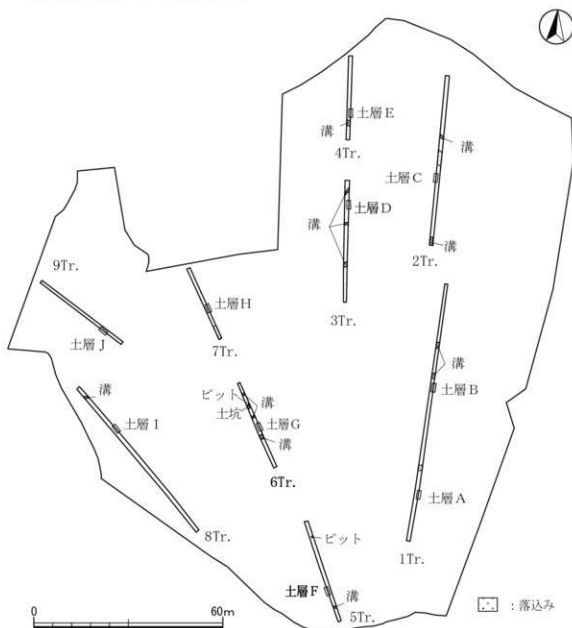
- ① 所在地 太田市亀岡町 518-1、520-2、521-1、524
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを3本設定し、F P 泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物とも確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第21図 確認調査平面図・断面図

17 村上遺跡 (R2No.146)

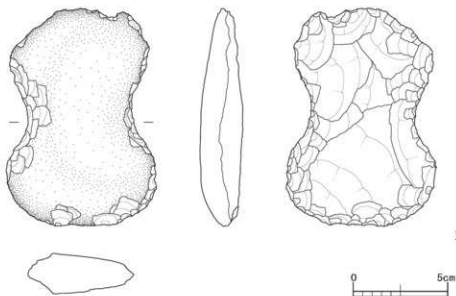
- ① 所在地 太田市吉沢町地内
- ② 調査原因 農地整備
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを9本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝13条、土坑1基、ビット2基が確認され、打製石斧、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第22図 確認調査平面図

<p>土層 A</p> <p>表土 5 cm</p> <p>にぶい黄褐色土 15cm以上</p>	<p>土層 B</p> <p>表土 25 cm</p> <p>にぶい黄褐色土 25 cm</p> <p>黒褐色土 20 cm</p> <p>ローム層 10 cm以上</p>	<p>土層 C</p> <p>表土 25 cm</p> <p>にぶい黄褐色土 20 cm</p> <p>ローム層 10 cm以上</p>	<p>土層 D</p> <p>表土 15 cm</p> <p>灰黄褐色土 10 cm</p> <p>にぶい黄褐色土 20 cm</p> <p>ローム層</p>
<p>土層 E</p> <p>表土 10 cm</p> <p>灰黄褐色土 20 cm</p> <p>黒褐色土 10 cm</p> <p>ローム層 5 cm以上</p>	<p>土層 F</p> <p>表土 15 cm</p> <p>灰黄褐色土 20 cm</p> <p>灰色粘土 25 cm以上</p>	<p>土層 G</p> <p>表土 15 cm</p> <p>灰黄褐色土 20 cm</p> <p>白灰色土 10 cm</p> <p>灰黄褐色土 15 cm</p> <p>ローム層</p>	<p>土層 H</p> <p>表土 10 cm</p> <p>灰黄褐色土 20 cm</p> <p>にぶい黄褐色土 20 cm</p> <p>水性ローム層</p>
<p>土層 I</p> <p>表土 10 cm</p> <p>にぶい黄褐色土 20 cm</p> <p>黄褐色土 20 cm</p> <p>ローム層</p>	<p>土層 J</p> <p>表土 20 cm</p> <p>黄褐色土 20 cm</p> <p>ローム層</p>		

出土遺物 (2Tr.)



番号	器種	法量 [cm・g] (残存)	特徴	備考
1	石器 打製石片	長さ: 11.5、幅: 7.9、厚さ: 2.1、重さ: 228.39	ホルンフェルス製、分銅形で、装着部の側縁部は刃つぶしが施される。	

第23図 断面図・出土遺物実測図

18 上遺跡 (R2No.253)

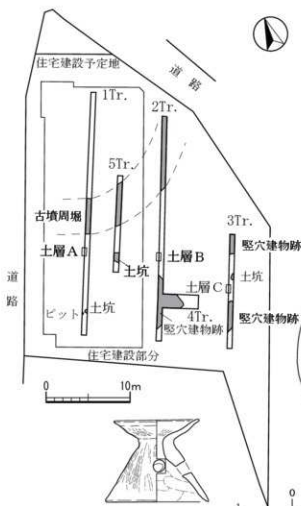
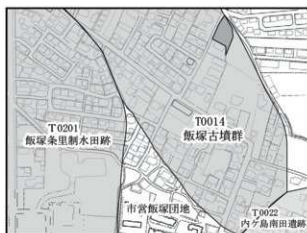
- ① 所在地 太田市鳥山上町 2224-1
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑4基、ビット1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構のため、本調査の必要はないと判断される。



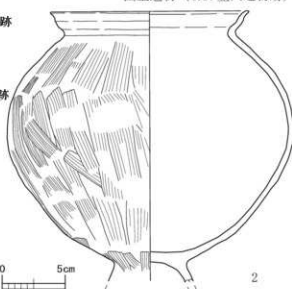
第24図 確認調査平面図・断面図

19 飯塚古墳群 (R2No.190)

- ① 所在地 太田市飯塚町 915-1 の一部
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを 5 本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 古墳の周堀 1 条、竪穴建物跡 3 軒、土坑 3 基、ピット 1 基が確認され、古墳時代の土器片、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



出土遺物 (4Tr. 竪穴建物跡)

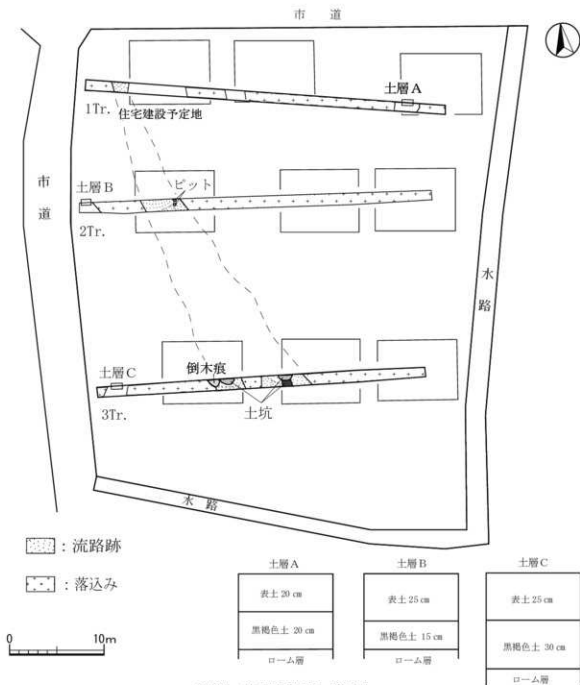


番号	器種	法量 (cm) (推定)	①構成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 器台	口径: (6.8) 底径: 8.2 器高: 6.5	①普通 ②粗 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④2/3残存	外面 口唇部ヨコナデ。器受部へ脚部へラミガキ。脚部中位に3ヶ所の凹孔。 内面 口唇部ヨコナデ。器受部へラミガキ。脚部ナデ。器受部底面には貫通孔。	
2	土師器 台付壺	口径: (15.8) 底径: - 器高: -	①普通 ②にぶい堀 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④1/3残存	外面 口縁部へ頸部ヨコナデ。胴部へ上部上端ナメハク。 内面 口縁部へ頸部ヨコナデ。胴部・台部摩耗甚しく調査不明瞭。	

第25図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

20 新堀遺跡 (R2No.177)

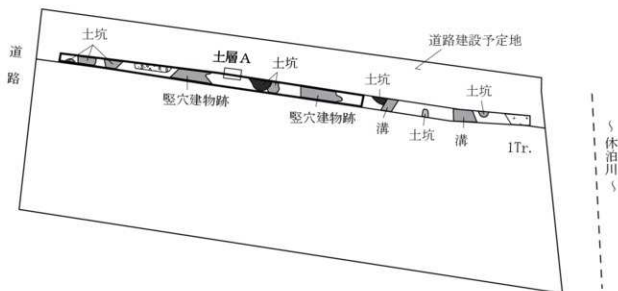
- ① 所在地 太田市台之郷町894-1
- ② 調査原因 宅地分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑3基、ピット2基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第26図 確認調査平面図・断面図

21 川向・中西田遺跡 (R2No.328)

- ① 所在地 太田市内ヶ島町 235-2、236-1、-2 の各一部、237-1、-3、-4、-5、237-4 地先
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを1本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡2軒、溝2条、土坑8基が確認され、古墳時代、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 道路建設部分について、本調査を実施した。



土層 A	
表土	15 cm
にぶい・黄褐色土	20 cm
ローム層	10 cm
ローム層	

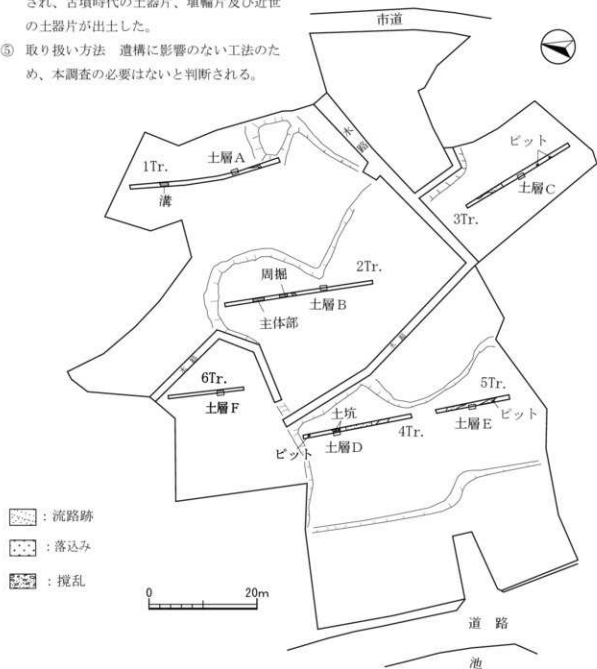
- : 攪乱
- : 落込み
- : 本調査範囲



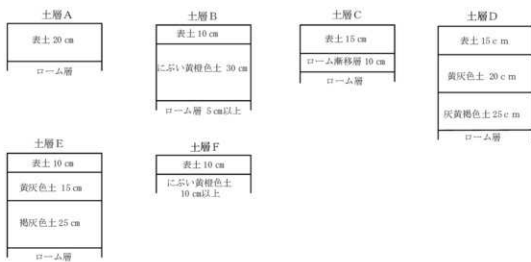
第27図 確認調査平面図・断面図

22 寺ヶ入古墳群 (R2No.119)

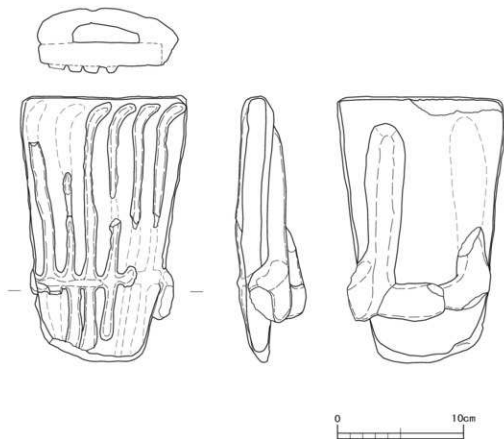
- ① 所在地 太田市東金井町 596、597-1、-2、598、599、601、602、603、617-1、1866、1869-2、2346
- ② 調査原因 太陽光発電施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを6本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 古墳の周堀1ヶ所、主体部1ヶ所、溝1条、土坑2基、ピット4基が確認され、古墳時代の土器片、埴輪片及び近世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第28図 確認調査平面図



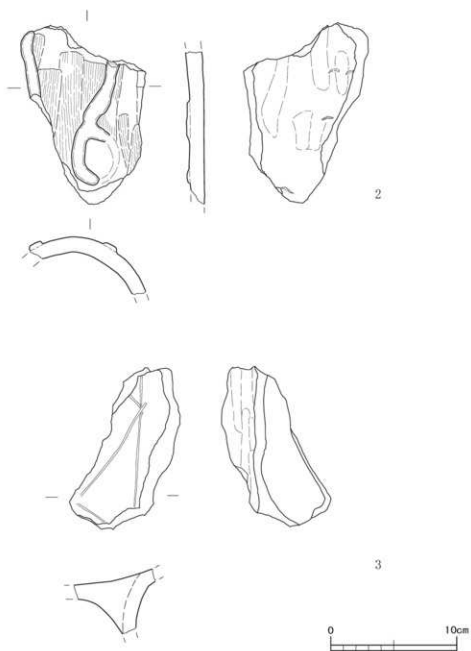
出土遺物 (2Tr.)



1

第29図 断面図・出土遺物実測図

出土遺物 (2Tr.)

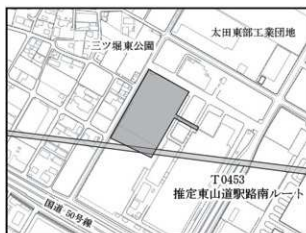


番号	器種	法量 [cm] (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	形象埴輪 椀	幅 : 13.2 厚さ : 5.5	①普通 ②明焼 ③チャート・石英・長石・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④先端部破片	矢筒先端部。粘土板を矢筒となる円筒部に差し込んで作られる。粘土板表面には縦位に6本、横位に1本の粘土紐を貼り付け、縷を表現。縷部先端は右に折れる。粘土板裏面には円筒部接合時の補強帯が付く。	
2	形象埴輪 椀	厚さ : 1.4	①普通 ②明焼 ③チャート・長石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④円筒部破片	外面はタテハケ調整後、粘土紐を貼り付け、背負い紐を表現。 内面はナデ調整。	
3	形象埴輪 盾	厚さ : 1.1	①普通 ②明焼 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④円筒部破片	円筒部に板状の側部を接合する。外面は摩耗激しく調整が不明瞭だが、線刻による顔面文を施す。内面はナデ調整。	

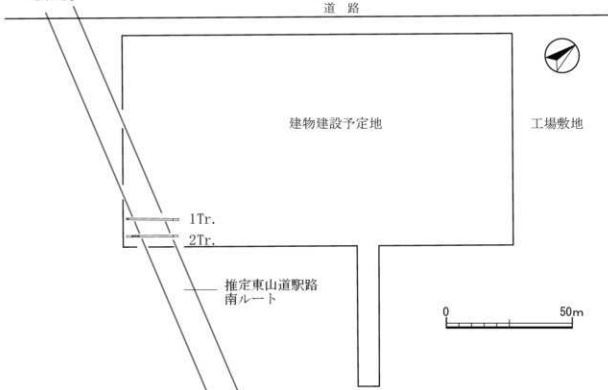
第30図 出土遺物実測図

23 推定東山道駅路南ルート (R2No.279)

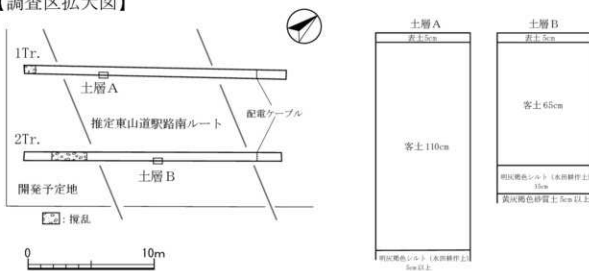
- ① 所在地 太田市東新町 831
- ② 調査原因 倉庫
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを 2 本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



道路



【調査区拡大図】



第31図 確認調査平面図・断面図

24 飯田古墳群、条里制水田想定地 (R3No. 53)

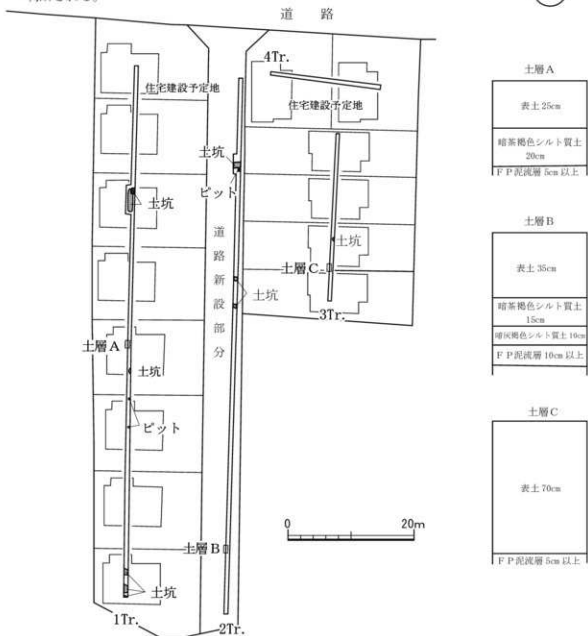
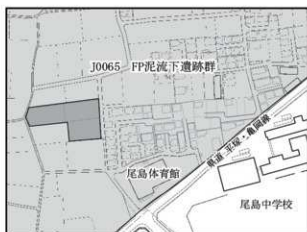
- ① 所在地 太田市小舞木町 456-1
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条、土坑7基、ピット1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第32図 確認調査平面図・断面図

25 FP 泥流下遺跡群 (R2No.49)

- ① 所在地 太田市亀岡町 675-1、・2、676-2
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを4本設定し、F P 泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑 10 基、ピット 3 基が確認されたが、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法又は壊されているため、本調査の必要はないと判断される。



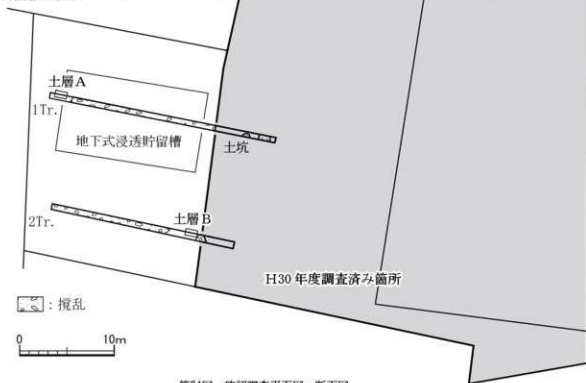
第33図 確認調査平面図・断面図

26 FP 泥流下遺跡群 (R2No.379)

- ① 所在地 太田市阿久津町 79-2、84-2、4、117-7、-12
- ② 調査原因 倉庫
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを2本設定し、F P 泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑1基が確認され、近世の古銭が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 工事部分には遺構がないため、本調査の必要はないと判断される。



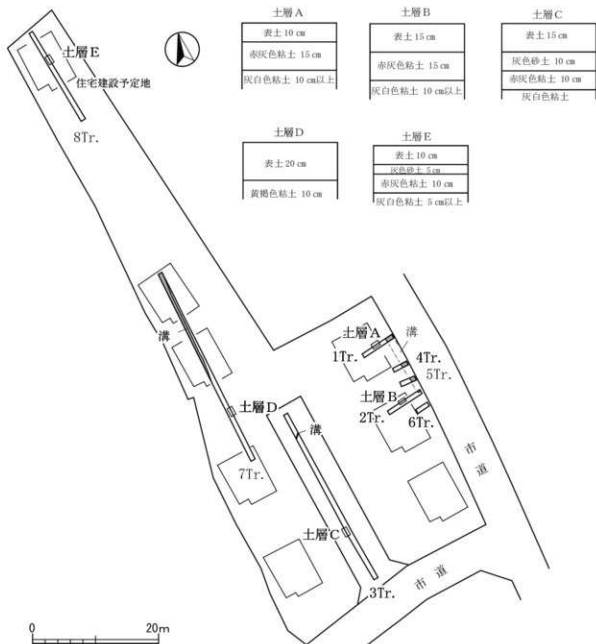
土層 A	土層 B
表土 10cm	表土 10cm
客土 75cm	客土 70cm
にぶい・黄褐色土 35cm	にぶい・黄褐色土 35cm
F P 泥流層 5cm 以上	F P 泥流層 10cm 以上



第34図 確認調査平面図・断面図

27 八反田遺跡 (R2No.375)

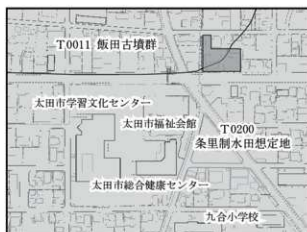
- ① 所在地 太田市下浜田町 219-1、221
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを 8 本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 3 条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構のため、本調査の必要はないと判断される。



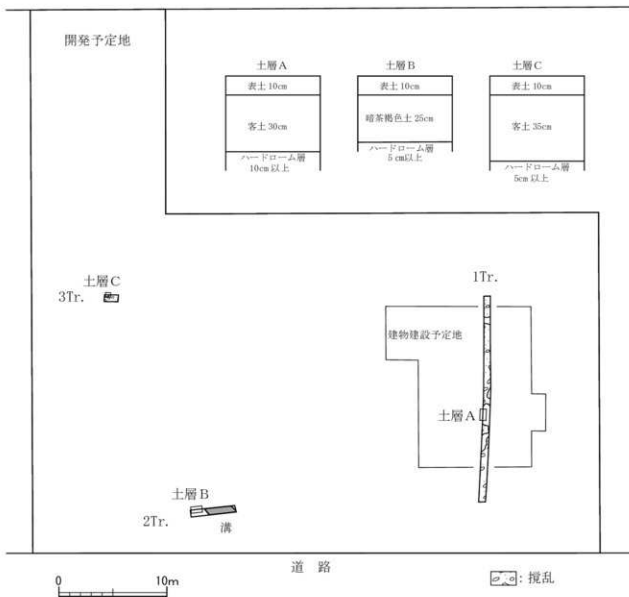
第35図 確認調査平面図・断面図

28 飯田古墳群、条里制水田想定地 (R2No. 202)

- ① 所在地 太田市小舞木町 328-1
- ② 調査原因 店舗
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



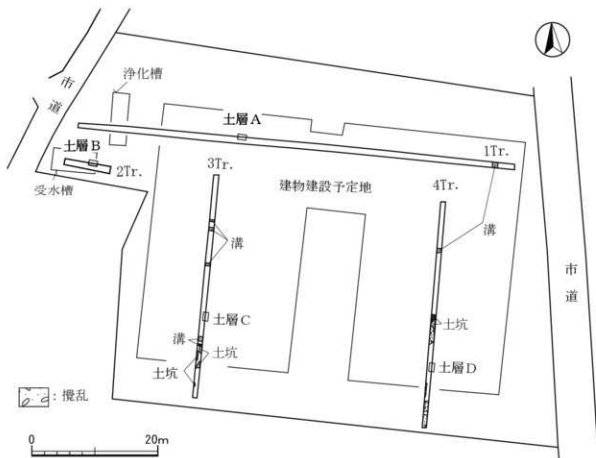
道路



第36図 確認調査平面図・断面図

29 梁場遺跡 (R2No.535)

- ① 所在地 太田市高林南町 283-25、288-6
- ② 調査原因 特別養護老人ホーム
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを4本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝7条、土坑6基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



①②③④⑤: 掘乱

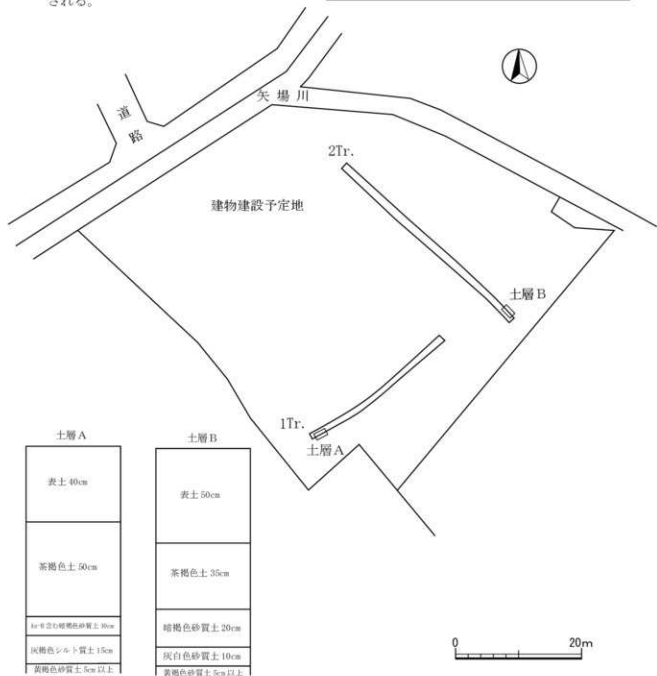
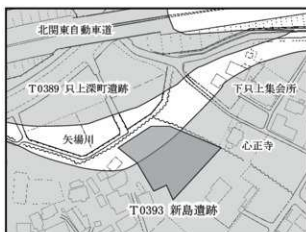
0 20m

土層A	土層B	土層C	土層D
表土 40 cm	表土 35 cm	表土 20 cm	表土 35 cm (砕石)
灰褐色土 5 cm	灰黄褐色土 10 cm	にぶい黄褐色土 15 cm	灰褐色土 5 cm
にぶい黄褐色土 15 cm	にぶい黄褐色土 15 cm	ローム層 20 cm以上	にぶい黄褐色土 15 cm
ローム層 5 cm以上	ローム層		ローム層 10 cm以上

第37図 確認調査平面図・断面図

30 新島遺跡 (R2No.506)

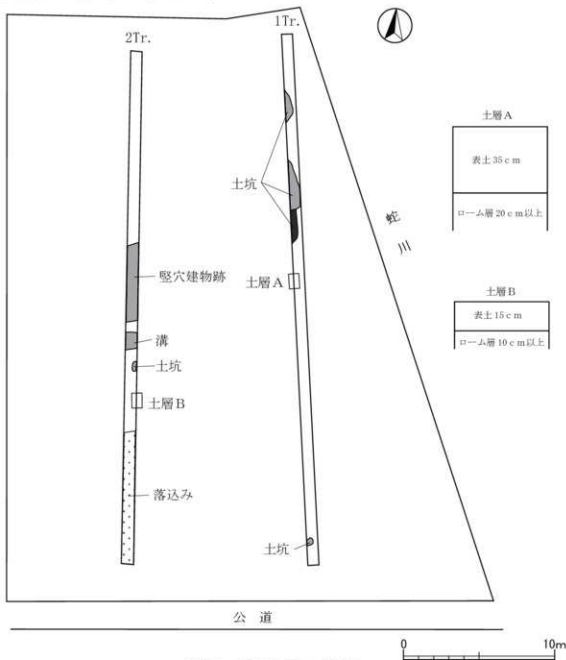
- ① 所在地 太田市只上町 1347-8、1350-5
- ② 調査原因 資材置場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを2本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第38図 確認調査平面図・断面図

31 細谷東遺跡、細谷八幡遺跡 (R2No.251)

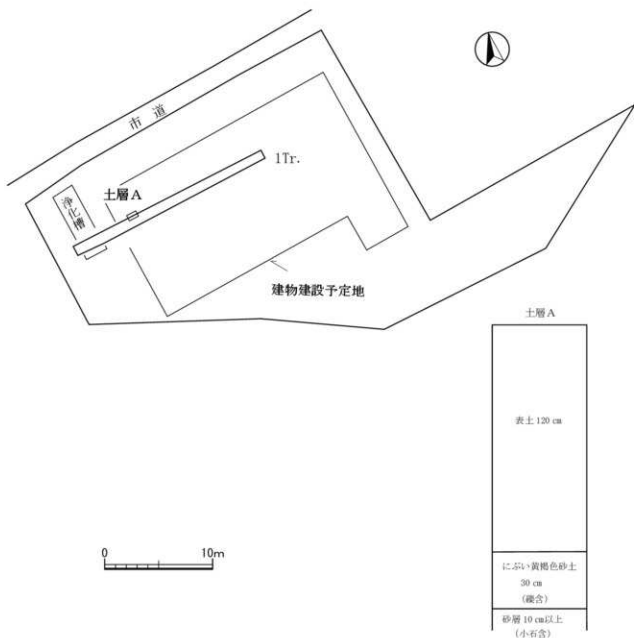
- ① 所在地 太田市細谷町 165-3、-4
- ② 調査原因 太陽光発電施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡1軒、溝1条、土坑5基が確認され、古墳時代の土器片、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第39図 確認調査平面図・断面図

32 道原遺跡 (R2No.582)

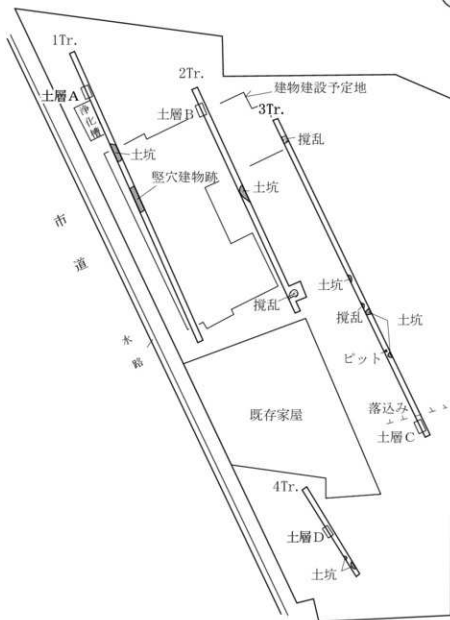
- ① 所在地 太田市只上町 1665-5
- ② 調査原因 圍舎
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを1本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物とも確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



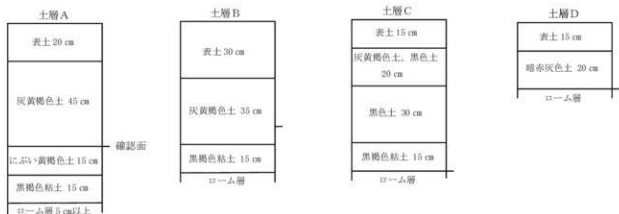
第40図 確認調査平面図・断面図

33 梁場遺跡 (R2No.249)

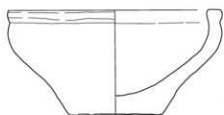
- ① 所在地 太田市高林南町236-4、238-1、-5、239-1、-5、240-1、-5、242-1
- ② 調査原因 保育施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを4本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡1軒、土坑7基、ピット1基が確認され、縄文時代、奈良・平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第41図 確認調査平面図

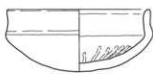


出土遺物 (4Tr.)

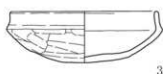


1

出土遺物 (1Tr.)



2



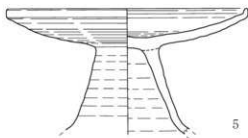
3

出土遺物 (1Tr.)

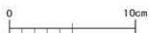


4

出土遺物 (3Tr.)



5

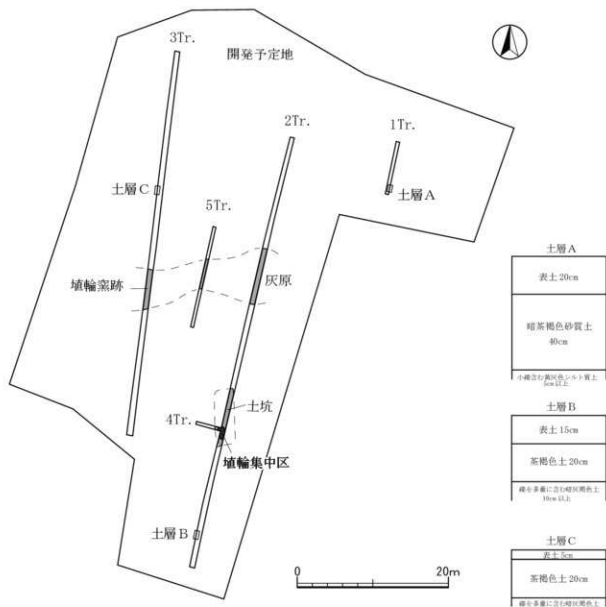


番号	器種	法量 [cm] (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	縄文土器 浅鉢	口径: (16.8) 底径: (17.2) 器高: 5.3	①普通 ②にぶい黄褐色 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④1/2残存	口唇部は肥厚し、その直下に1条の沈線を横位に施らせる。内外面ともにヘラミガキを施す。	縄文中期後半
2	土師器 杯	口径: 11.4 底径: — 器高: 5.0	①やや不良 ②にぶい黄褐色 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部ヨコナデ。体部～底部摩擦激しく調整不明。 内面 口縁部ヨコナデ。体部～底部放射状のヘラミガキ。	
3	土師器 杯	口径: 11.6 底径: — 器高: 4.1	①普通 ②粗灰 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部ヨコナデ。体部～底部へラケズリ。 内面 口縁部ヨコナデ。体部～底部ナデ。	
4	土師器 杯	口径: 16.8 底径: — 器高: 6.6	①やや不良 ②明褐色 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部ヨコナデ。体部～底部全体的に摩擦激しいもの一部へラケズリ残る。 内面 口縁部ヨコナデ。体部～底部摩擦激しく調整不明。	
5	須恵器 高盤	口径: (19.0) 底径: — 器高: —	①還元焼 ②粗灰 ③チャート・石英・長石・角閃石・白色粒・褐色粒 ④1/2残存	口縁部整形。口唇部斜り曲り。内面体部回転へラケズリ後、ナデ調整。	

第42図 断面図・出土遺物実測図

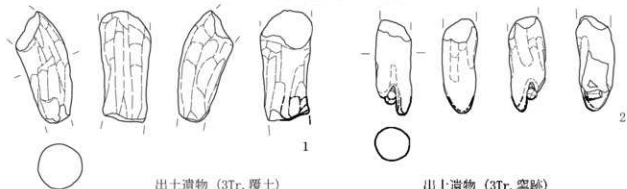
34 駒形神社埴輪窯跡 (R2No.51)

- ① 所在地 太田市北金井町 409-1、-2、-4、-5、422-1、1372-9
- ② 調査原因 太陽光発電施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを5本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 埴輪窯跡1基、土坑1基が確認され、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

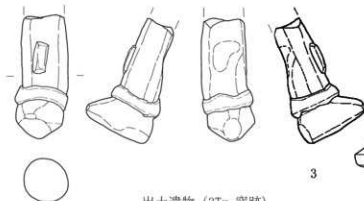


第43図 確認調査平面図・断面図

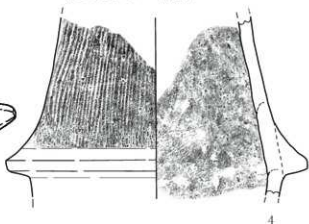
出土遺物 (2Tr. 土坑)



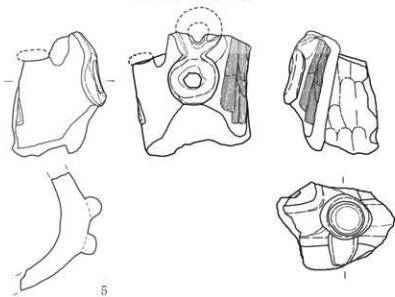
出土遺物 (3Tr. 覆土)



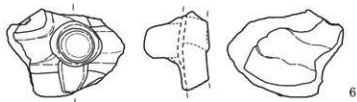
出土遺物 (3Tr. 窯跡)



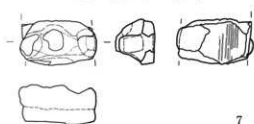
出土遺物 (3Tr. 窯跡)



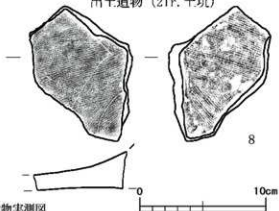
出土遺物 (3Tr. 窯跡)



出土遺物 (2Tr. 覆土)

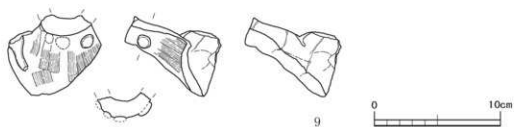


出土遺物 (2Tr. 土坑)

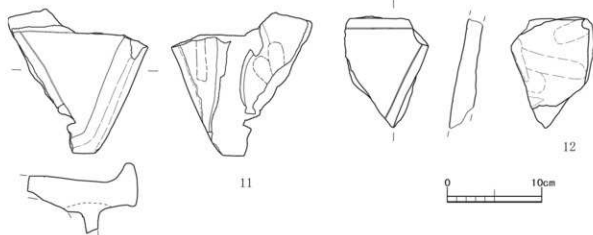
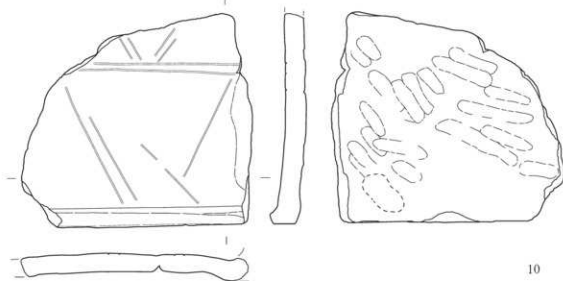


第44圖 出土遺物実測図

出土遺物 (3Tr. カマド)



出土遺物 (3Tr. カマド)

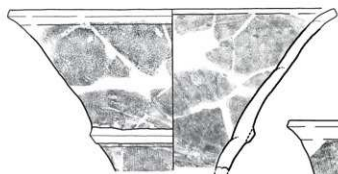


出土遺物 (2Tr. カマド)

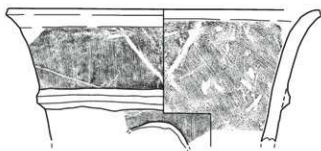


第45図 出土遺物実測図

出土遺物 (3Tr. 窯跡)

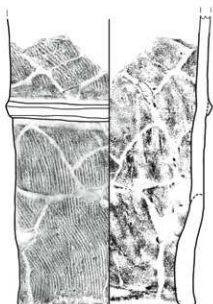


14



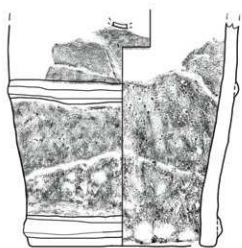
15

出土遺物 (2Tr. 土坑)



16

出土遺物 (3Tr. 窯跡)



17



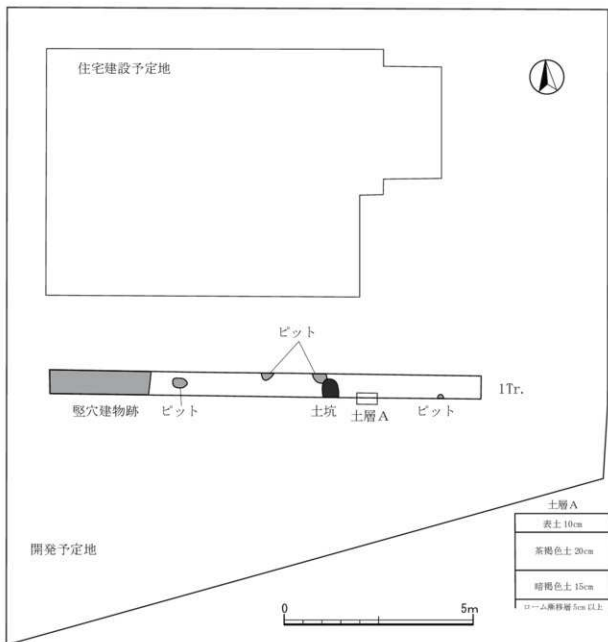
第46図 出土遺物実測図

器種	流量 [cm] (推定)	①焼成 ②色調 ③軸土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1 形象埴輪人物	厚さ: 3.54	①普通 ②赤褐 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④破片	左腕部の破片。ナゾ調整。	破片
2 形象埴輪人物	厚さ: 2.7	①普通 ②赤褐 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④破片	右腕から手にかけての破片。指一本一本の表現は省略される。手には棒状品をつかむ。ナゾ調整。	
3 形象埴輪人物	厚さ: 3.4	①やや不良 ②緑 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④破片	下げ大豆目。先端はL字状に屈曲する。屈曲部には粘土紐を巻き付け、結び紐を表現。その上部には方形の粘土板が貼り付けられ、同じく結び紐の表現と考えられる。背面には本体肩部に張り付けたと考えられる接合痕が残る。ナゾ調整。	
4 形象埴輪人物	最大径: 23.8 厚さ: 1.1	①やや不良 ②明褐 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④破片	人物顔部。円筒部に断面台形状の粘土を貼り付け、磨らせる。外面はタテハク調整。内面はナゾ調整。	
5 形象埴輪人物	厚さ: 1.8	①普通 ②赤褐 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④破片	首持ち人の頸部。円筒部に楕円形に穿孔し目を表現。耳は円形に穿孔した後、環状の粘土を2重貼り付けし、耳飾りとともに表現する。その下部には頸部分の粘土を貼り付けた痕跡が残る。後頸部はタテハクが明確に残る。内面はナゾ調整。	
6 形象埴輪馬	厚さ: 2.85	①やや不良 ②緑 ③チャート・石英・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④破片	馬の頸部。面整部分の破片から、縦・横位に幅3.3~3.8cmの粘土紐を貼り付け、帯を表現。さらに帯の交差部分から下方に向かって、舌状の粘土板を貼り付け、帯の先端とする。帯の交差部分には球状の粘土より筋を表現するが、識別は認められない。	
7 形象埴輪大刀	横幅: 6.0 厚さ: 2.8	①やや不良 ②明赤褐 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④破片	勾玉部分の破片。勾玉となる粘土板上に半球状の粘土を貼り付け、三輪玉の装着状況を表現。	
8 形象埴輪盾	厚さ: 3.0	①普通 ②赤褐 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④破片	表裏面ともにハク調整。円筒部に沿うように平行する2条の線刻を施す。内区とする。外区には内区より放射状にのびる線刻を施す。	
9 形象埴輪剣	厚さ: 1.45	①普通 ②明赤褐 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④破片	石の字状に接合される下先端部。外面はタテハク調整後、円形粘土を貼り付ける。内面はナゾ調整。	
10 形象埴輪家	厚さ: 2.1	①やや不良 ②明赤褐 ③チャート・石英・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④破片	組み合わせ式の上層頸部部分。外面は線刻による縦文を施す。右側面に残る突出部は破風程の欠損箇所と考えられる。内面はナゾ調整。	
11 形象埴輪家	厚さ: 2.8	①普通 ②赤褐 ③チャート・石英・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④破片	組み合わせ式の上層頸部部分。外面は線刻により縦文を施すものと考えられる。側面には破風板が取り付く。内面はナゾ調整で、裏側の粘土板を張り付けた痕跡が残る。	
12 形象埴輪家	厚さ: 2.3	①やや不良 ②明褐 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④破片	上層頸部分。外面は線刻による縦文を施す。内面はナゾ調整。	
13 円筒埴輪朝顔形	厚さ: 1.1	①普通 ②明褐 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	口縁部は内外面ともにココナデ。外面はココナデ後、ナメハク。内面はナメハク。	
14 円筒埴輪朝顔形	口径: (34.4) 底径: - 器高: -	①やや不良 ②明褐 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	口縁部は内外面ともにココナデ。外面はタテハク調整後、断面台形の突帯貼り付け。内面はナメハク、一部ナデ。	
15 円筒埴輪	口径: (32.8) 底径: - 器高: -	①やや不良 ②明赤褐 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部破片	口縁部は内外面ともにココナデ。円形の透かし孔を有する。外面はタテハク調整後、断面台形の突帯貼り付け。ヘラ状工具による線刻を施す。内面はナメハク。	
16 円筒埴輪	口径: - 底径: 18.5 器高: -	①普通 ②赤褐 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④2/3残存	外面はタテハク調整後、部分的にナメハクを施す。突帯は突出の低い台形状のものを貼り付ける。内面はナゾ調整。	
17 円筒埴輪	口径: (19.6) 器高: -	①やや不良 ②明赤褐 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④1/3残存	外面は全体的に摩耗激しく調整不明瞭であるが、部分的にタテハクが認められる。突帯は突出の低い台形状であり、最下段の突帯は底部付近の低位置に貼り付けられる。内面はナゾ調整。	形象埴輪の基部の可能性あり。

第47図 出土遺物観察表

35 天良七堂遺跡 (R2No.574)

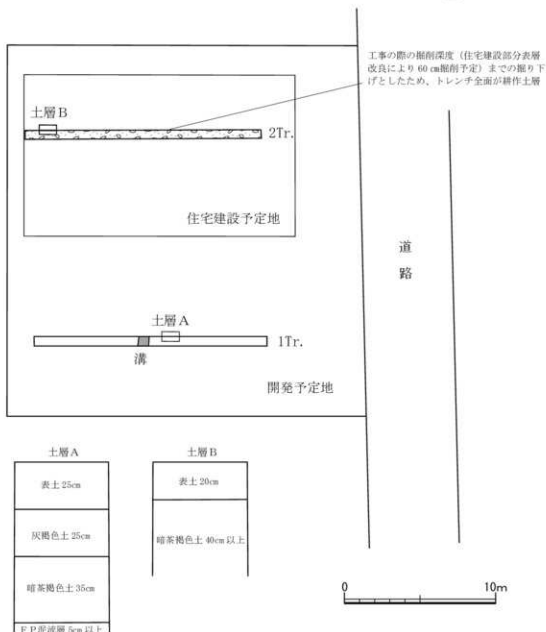
- ① 所在地 太田市天良町 130-15
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを1本設定し、ローム漸移層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡1軒、土坑1基、ピット4基が確認され、縄文時代、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第48図 確認調査平面図・断面図

36 東部地区遺跡群 (R2No.515)

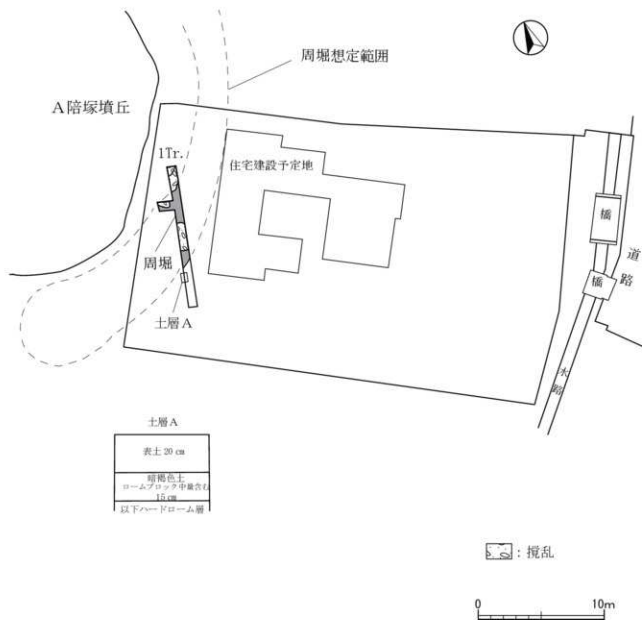
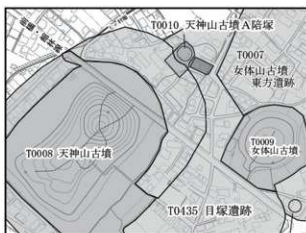
- ① 所在地 太田市堀口町 152-1、-4、-5、-6、-11、-12 (62 街区 4、5、6)
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを 2 本設定し、F P 泥流層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 1 条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第49図 確認調査平面図・断面図

37 目塚遺跡 (R2No.500)

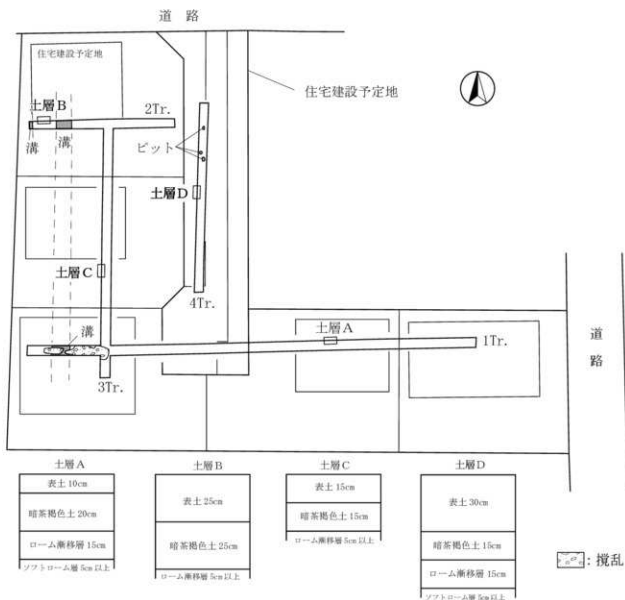
- ① 所在地 太田市内ヶ島町 1596 の一部
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを 1 本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 古墳の周堀 1 条が確認され、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第50図 確認調査平面図・断面図

38 入谷遺跡 (R2No.589)

- ① 所在地 太田市新田村田町 2006-1
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを4本設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝2条、ピット3基が確認され、奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

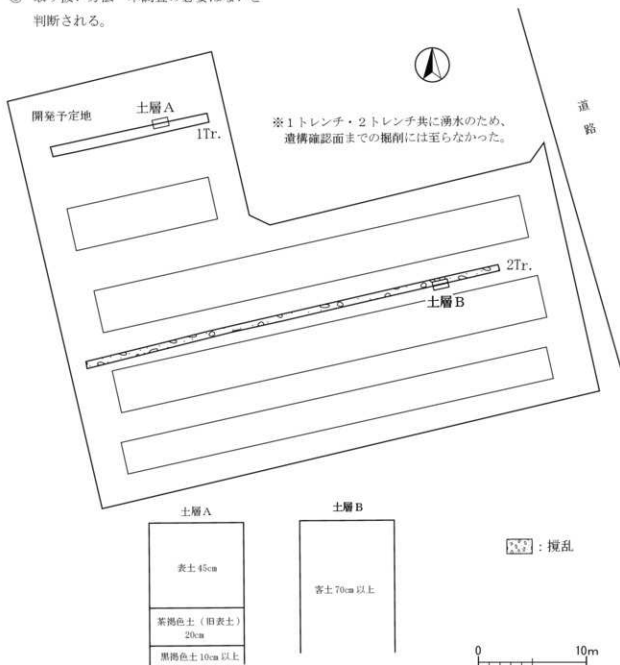


第51図 確認調査平面図・断面図



39 宮元遺跡 (R2No.551)

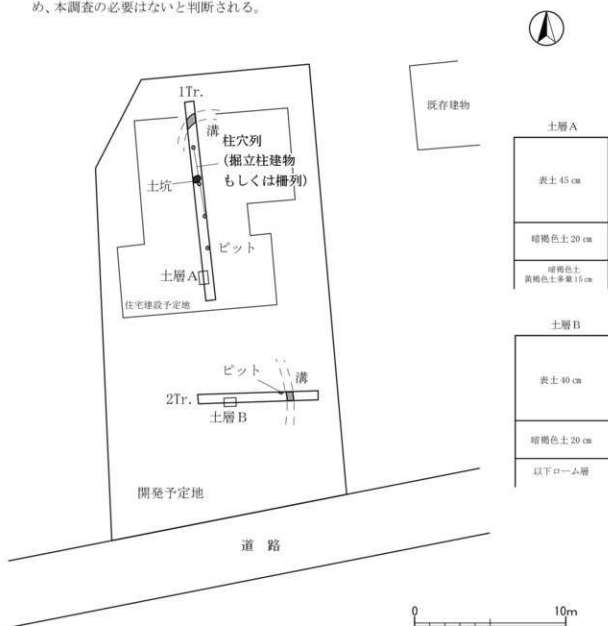
- ① 所在地 太田市由良町182-1、-3
- ② 調査原因 太陽光発電施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを2本設定し、黒褐色土まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物とも確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第52図 確認調査平面図・断面図

40 反町城館跡 (R2No.237)

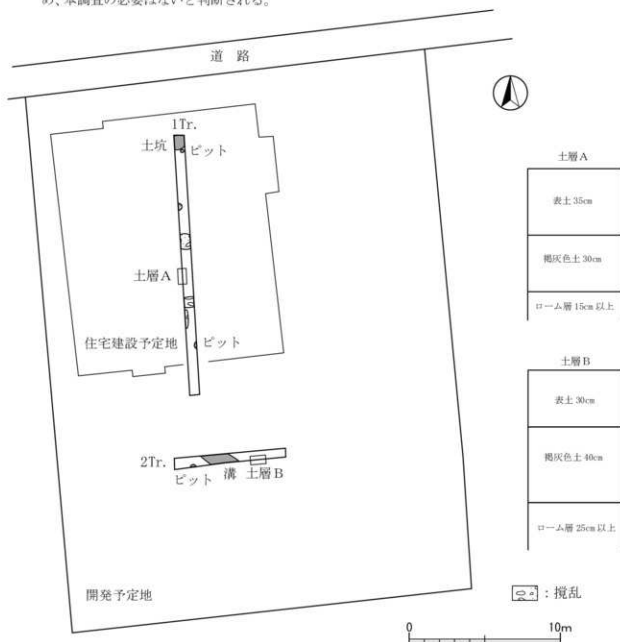
- ① 所在地 太田市新田反町町 617-4
- ② 調査原因 店舗併用住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを2本設定し、ルーム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 柱穴列1基、溝2条、土坑1基、ビット2基が確認され、中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第53図 確認調査平面図・断面図

41 古戸赤城遺跡 (R2No.641)

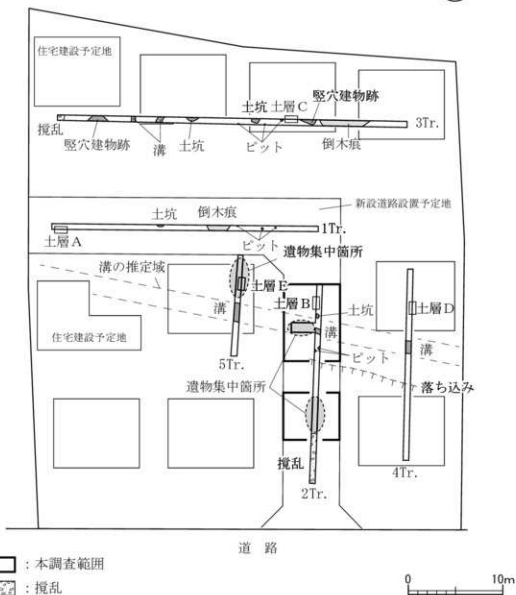
- ① 所在地 太田市古戸町 240-2、661-1
- ② 調査原因 老人ホーム
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条、土坑1基、ビット3基が確認され、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第54図 確認調査平面図・断面図

42 房塚遺跡 (R2No.522)

- ① 所在地 太田市内ヶ島町 606-1
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北・東西方向にトレンチを5本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡2軒、溝3条、土坑4基、ピット8基、遺物集中3ヶ所が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 道路築造部分について、本調査を実施した。



第55図 確認調査平面図

土層A	土層B	土層C	土層D	土層E
表土 20cm	表土 20cm	表土 15cm	表土 20cm	表土 30cm
黒褐色土 35cm	黒褐色土 40cm	暗褐色土 25cm	黒褐色土 35cm	黒褐色土 50cm
ローム移行層 10cm	ローム移行層 10cm	ローム層 5cm 以上	ローム移行層 10cm	ローム移行層 5cm
ローム層 5cm 以上	ローム層 5cm 以上		ローム層 5cm 以上	ローム層 5cm 以上

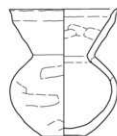
出土遺物 (2Tr.)



1

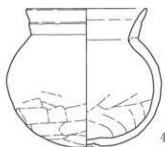


2



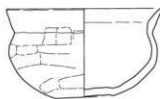
3

出土遺物 (2Tr.)



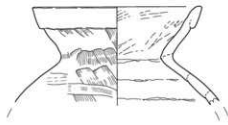
4

出土遺物 (5Tr.)



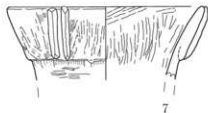
5

出土遺物 (3Tr.)

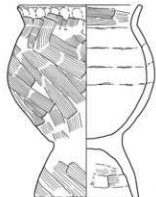


6

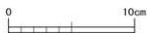
出土遺物 (3Tr.)



7

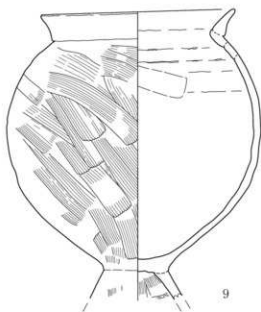


8



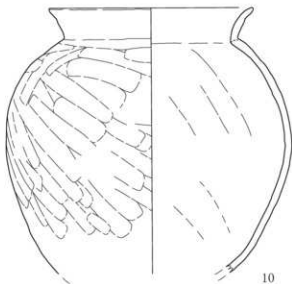
第56図 断面図・出土遺物実測図

出土遺物 (3Tr.)



9

出土遺物 (5Tr.)



10



番号	器種	法量 [cm] (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 埴	口径: 9.3 底径: - 器高: 8.1	①普通 ②にふい艘 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・褐色粒 ④完形	外面 口縁部ヨコナデ。体部へ底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナデ。体部ナデ。	
2	土師器 埴	口径: (10.6) 底径: 2.8 器高: 9.0	①普通 ②明焼 ③チャート・角閃石・白色粒 ④口縁部一部欠損	外面 口縁部ヨコナデ。頭部へ底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナデ。体部ナデ。	
3	土師器 埴	口径: (8.6) 底径: 3.3 器高: 10.1	①普通 ②褐 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・褐色粒 ④1/5残存	外面 口縁部ヨコナデ。体部へ底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナデ。頭部ヘラケズリ。体部へ底部ナデ。	
4	土師器 小型壺	口径: 9.5 底径: 1.9 器高: 11.0	①普通 ②明焼 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 口縁部ヨコナデ。体部下へ底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナデ。体部上半ヘラナデ。体部下平ナデ。	
5	土師器 鉢	口径: 12.3 底径: 4.4 器高: 7.1	①普通 ②褐 ③チャート・角閃石・白色粒・褐色粒 ④2/3残存	外面 口縁部ヨコナデ。頭部へ底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナデ。体部へ底部摩耗激しく調整不明瞭。	
6	土師器 壺	口径: 13.4 底径: - 器高: -	①普通 ②褐 ③チャート・長石・白色粒・褐色粒 ④口縁部へ胴部1/3残存	外面 口縁部折り返し後ヨコナデ。頭部へ胴部ナメハケ。 内面 口縁部へ胴部ヨコナデ後、ヘラミガキ。体部輪積み取明瞭に残る。	
7	土師器 壺	口径: (15.4) 底径: - 器高: -	①普通 ②明焼 ③チャート・白色粒・褐色粒 ④口縁部へ頭部破片	外面 二重口縁。口縁部へ頭部ハケメ調整後ヘラミガキ。折り返した口縁上には2本の粘土線を貼り付け、梯状浮文を施す。 内面 口縁部へ頭部ヘラミガキ。	
8	土師器 台付壺	口径: 9.4 底径: 8.1 器高: 15.3	①普通 ②明焼 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 口縁部指頭圧痕あり。頭部へ胴部、右部下半ナメハケ。 内面 口縁部へ頭部、右部横ハケメ。胴部輪積み取明瞭に残る。	
9	土師器 台付壺	口径: (15.2) 底径: - 器高: -	①普通 ②粗 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④3/5残存	外面 口縁部ヨコナデ。頭部へ胴部、右部下半ナメハケ。 内面 口縁部へ頭部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。右部タテハケ及びヨコハケ。	
10	土師器 壺	口径: (16.0) 底径: - 器高: -	①普通 ②暗焼 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ③3/4残存	外面 口縁部へ頭部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。 内面 口縁部へ頭部ヨコナデ。体部ヘラナデ。	

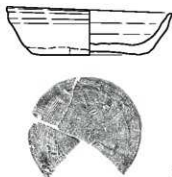
第57図 出土遺物実測図

43 東今泉鹿島遺跡 (R2No.218)

- ① 所在地 太田市東今泉町 368-1 ほか 34 筆
- ② 調査原因 倉庫
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを 20 本設定し、遺跡確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 堅穴建物跡 2 軒、溝 38 条、土坑 106 基、ピット 114 基が確認され、縄文時代、古墳時代～近世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響がある部分について、本調査を実施した。



出土遺物 (2Tr.)

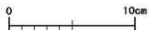


1

出土遺物 (9Tr.)

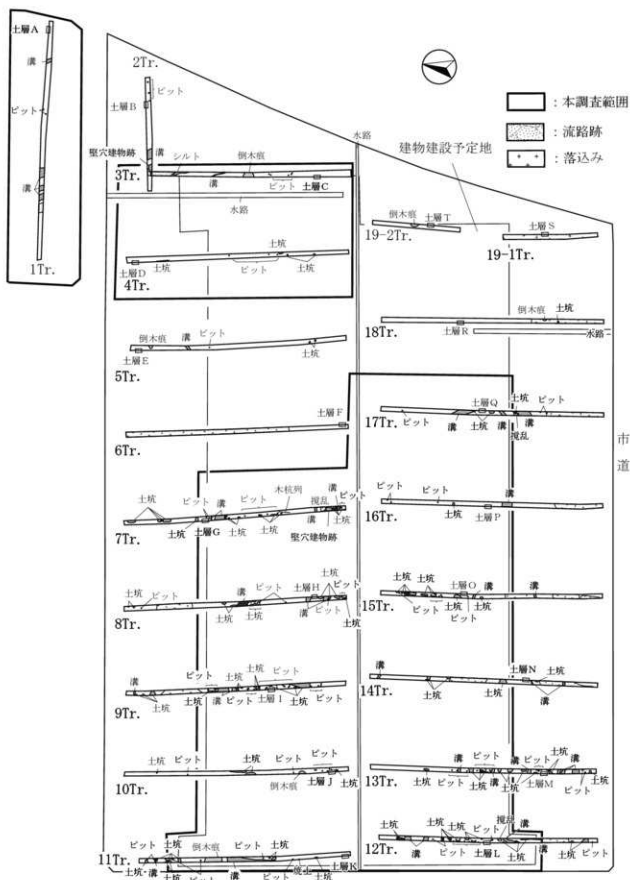


2

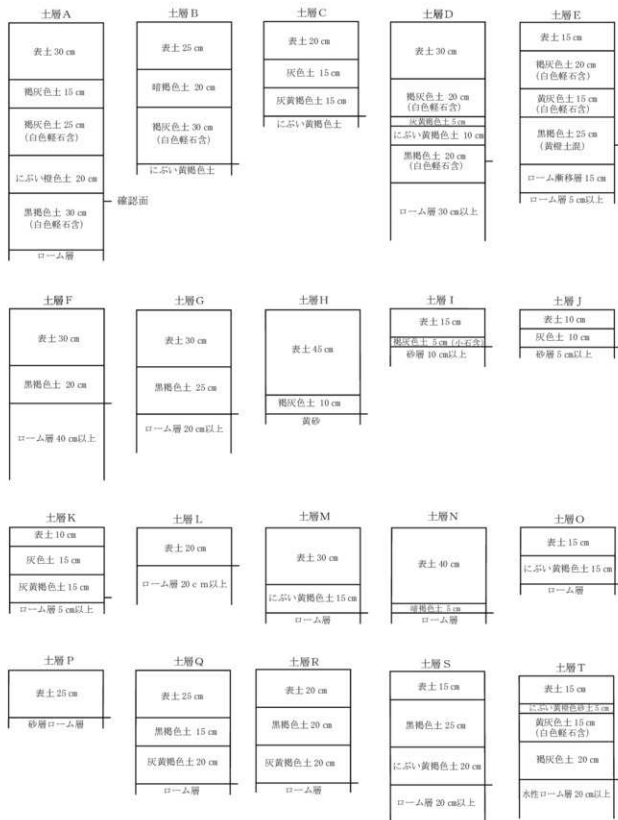


番号	器種	法庫 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③粘土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏	口径: 13.1 底径: 9.0 器高: 3.8	①還元焼 ②褐灰 ③チャート・長石・白色粒・黒色粒 ④2/3残存	ロクロ整形。底部回転糸切りによる切り離し後、ヘラケズリ調整。	
2	須恵器 坏	口径: 12.2 底径: 5.5 器高: 3.9	①還元焼 ②明焼 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	ロクロ整形。底部回転糸切り。	

第58図 出土遺物実測図



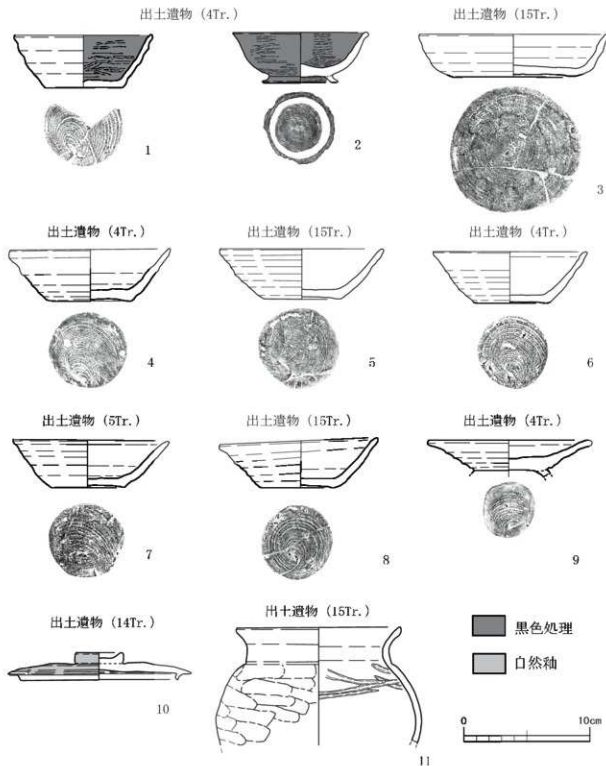
第59図 確認調査平面図



第60図 断面図

44 東今泉鹿島遺跡 (R2No.354)

- ① 所在地 太田市東今泉町 211-2 ほか 27 筆
- ② 調査原因 倉庫
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを15本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 37 軒、溝 9 条、土坑 37 基、ピット 4 基が確認され、縄文時代、奈良・平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 設計変更により遺構をほとんど壊さないため、本調査の必要はないと判断される。



第61図 出土遺物実測図

出土遺物 (15Tr.)



12

出土遺物 (5Tr.)

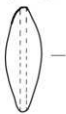


■ 釉薬

13



出土遺物 (15Tr.)



15



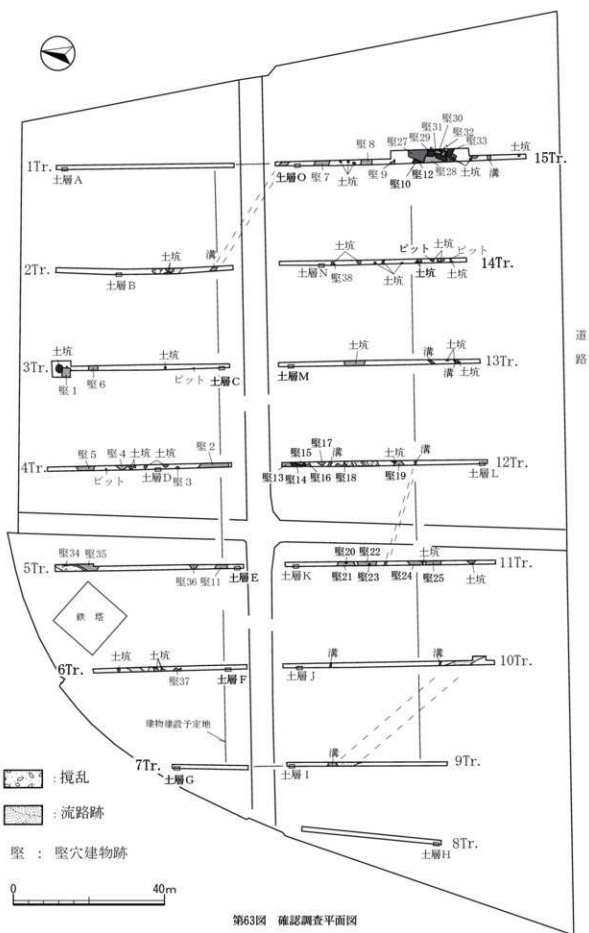
出土遺物 (4Tr.)



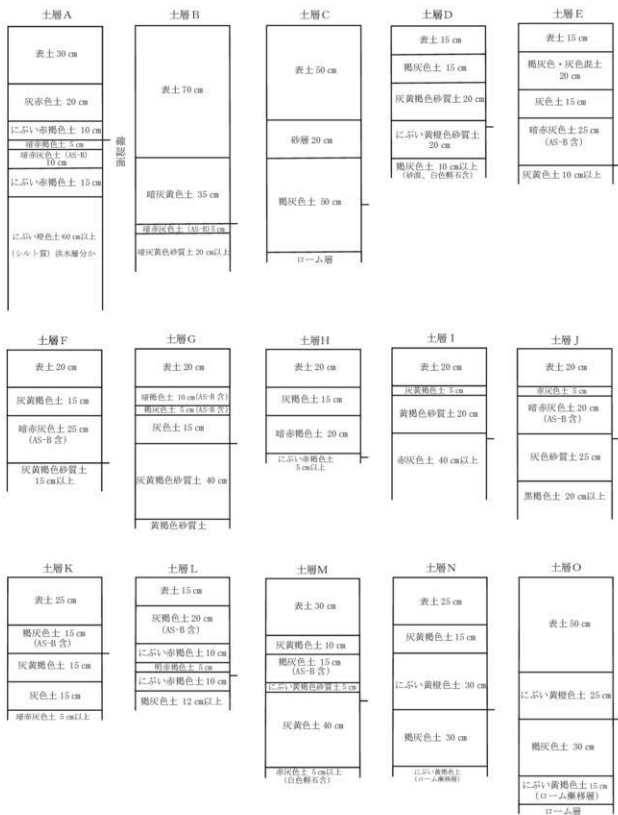
14

番号	器種	法量 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 罎	口径: (10.8) 底径: (6.3) 器高: 4.2	①酸化焼 ②にぶい焼 ③チャート・白色粒・黒色粒 ④2/3残存	ロタロ整形。底部回転糸切り。内面口縁部～底部ヘラミガキ。内面黒色処理。	
2	須恵器 高台付罎	口径: (10.8) 底径: 5.8 器高: 4.0	①酸化焼 ②暗焼 ③チャート・角閃石・白色粒 ④1/3残存	ロタロ整形。貼り付け高台。内外面ともにヘラミガキ及び黒色処理を施す。	
3	須恵器 罎	口径: (15.0) 底径: 9.8 器高: 3.4	①還元焼 ②焼灰 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④2/3残存	ロタロ整形。底部回転ヘラ切り。	
4	須恵器 罎	口径: 12.7 底径: 6.0 器高: 4.1	①還元焼 ②明焼灰 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④2/3残存	ロタロ整形。底部回転糸切り。	
5	須恵器 罎	口径: (12.8) 底径: 6.0 器高: 4.0	①還元焼 ②焼灰 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④3/4残存	ロタロ整形。底部回転糸切り。	
6	須恵器 罎	口径: 12.2 底径: 5.8 器高: 4.1	①還元焼 ②焼灰 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④3/4残存	ロタロ整形。底部回転糸切り。	
7	須恵器 罎	口径: 12.3 底径: 5.8 器高: 3.8	①酸化気味 ②明焼灰 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④ほぼ完成	ロタロ整形。底部回転糸切り。	
8	須恵器 罎	口径: 12.5 底径: 5.8 器高: 4.0	①酸化焼 ②にぶい黄橙 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④3/4残存	ロタロ整形。底部回転糸切り。	
9	須恵器 高台付罎	口径: 12.8 底径: — 器高: —	①酸化焼 ②にぶい焼 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④ほぼ完成	ロタロ整形。底部回転糸切り後、高台貼り付け。	
10	須恵器 蓋	口径: 14.6 幅み径: 3.8 器高: 2.2	①還元焼 ②灰白 ③チャート・長石・白色粒・黒色粒 ④1/2残存	ロタロ整形。口唇部は下方に折り返して付けられる。天井部は回転ヘラミガキ後、扁平な楕円を貼り付け。幅み～天井部にかけて自然釉付着。	
11	土師器 甕	口径: (13.0) 底径: — 器高: —	①普通焼 ②にぶい焼 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部破片	外面 口縁部～胴部コの字状にヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内面 口縁部～胴部ヨコナデ。胴部上段、ヘラ状工具による縦割を施す。	
12	須恵器 壺	口径: — 底径: 4.7 器高: —	①還元焼 ②灰焼 ③長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④底部	ロタロ整形。底部回転糸切り。	
13	灰釉陶器 高台付罎	口径: (15.0) 底径: (6.8) 器高: 4.9	①還元焼 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④1/4残存	ロタロ整形。底部高台貼り付け後、ナデ調整。内外面ともに口縁部～底部、高台にかけて灰釉を施す。	
番号	器種	法量 (cm・g) (残存)	特徴	備考	
14	土製品 土埴	長さ: 3.9、径: 1.3、孔径: 0.4、重さ: 7.79	焼成: 酸化焼。色調: にぶい橙。胎土: 角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒		
15	土製品 土埴	長さ: 5.5、幅: 1.9、厚さ: 0.3、重さ: 16.99	焼成: 酸化焼。色調: にぶい橙。胎土: 角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒		

第62図 出土遺物実測図



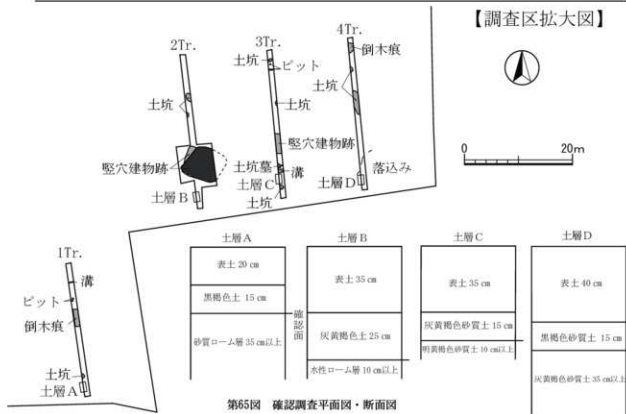
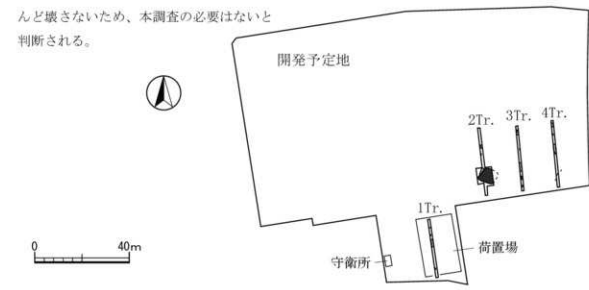
第63図 確認調査平面図



第64図 断面図

45 宿裏遺跡 (R2No.355)

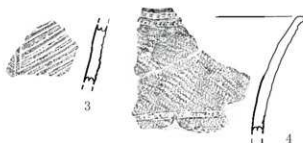
- ① 所在地 太田市東今泉町 16 ほか
- ② 調査原因 事務所、駐車場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを 4 本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 堅穴建物跡 3 軒、溝 2 条、土坑 8 基、ピット 5 基、土坑墓 1 基が確認され、縄文時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 設計変更により遺構をほとんど壊さないため、本調査の必要はないと判断される。



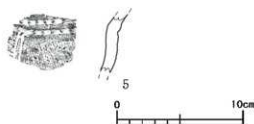
出土遺物 (53Tr.)



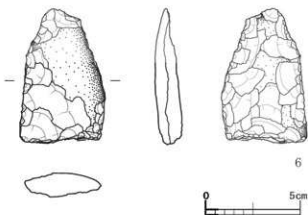
出土遺物 (54Tr.)



出土遺物 (53Tr.)



出土遺物 (53Tr.)



出土遺物 (54Tr.)

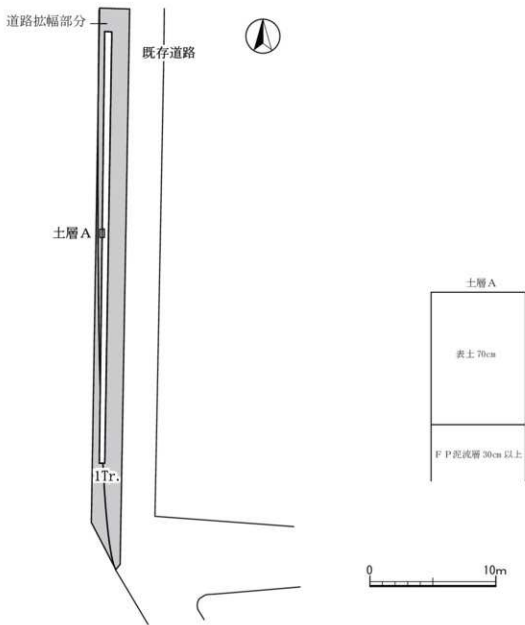


番号	品名	法量 (cm) (推定)	①旋成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・成形技法の特徴	備考
1	縄文土器 深鉢	口径： 底径：10.6 器高：—	①普通 ②に赤い粉 ③チャート・長石・白色粒 ④底部 破片	無銘のR縄文を施文。	縄文前期前半
2	縄文土器 深鉢	口径：— 底径：— 器高：—	①普通 ②に赤い粉 ③麻跡・石英・白色粒・褐色粒 ④胴部破片	半截竹管によって、支点をずらしたコンパス文を施す。	縄文前期前半
3	縄文土器 深鉢	口径：— 底径：— 器高：—	①普通 ②に赤い粉 ③チャート・長石・白色粒・褐色粒 ④胴部破片	半截竹管によって、物骨文状に斜段及び斜段の位線を施す。	縄文前期中葉
4	縄文土器 深鉢	口径：— 底径：— 器高：—	①普通 ②に赤い粉 ③チャート・石英・白色粒・褐色粒 ④胴部破片	R Iの縄文縞文後、II線部と胴部上段には半截竹管による平行位線と連続刺突文をそれぞれ2段ずつ施す。	縄文前期後半
5	縄文土器 深鉢	口径：— 底径：— 器高：—	①普通 ②灰質 ③長石・角閃石・白色粒・褐色粒 ④胴部破片	半截竹管によって、横位及び縦位に連続刺突文を施し区画する。区画内には只段文を施す。	縄文前期後半
番号	品名	法量 (cm・g) (残存)		特徴	備考
6	石鐙 打製石斧	長さ：7.1、幅：4.4、厚さ：1.3、重さ：60.40		両側面、基部から刃部に向かって幅の広がる逆錐型。刃部一部欠損。	
7	銅製石 凸鏡	径：2.46、重さ：19.20		縦向き、銅製。銅製。銅製。銅製。銅製。	
8	銅製石 凸鏡	径：2.46 重さ：3.72		“家集通寶”刻。無背。六文銭。	

第66図 出土遺物実測図

46 FP 泥流下遺跡群 (R2No.658)

- ① 所在地 太田市亀岡町 679 ほかい地先
- ② 調査原因 道路改良
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを1本設定し、F P 泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物とも確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第67図 確認調査平面図・断面図

47 東部地区遺跡群 (R2No.560)

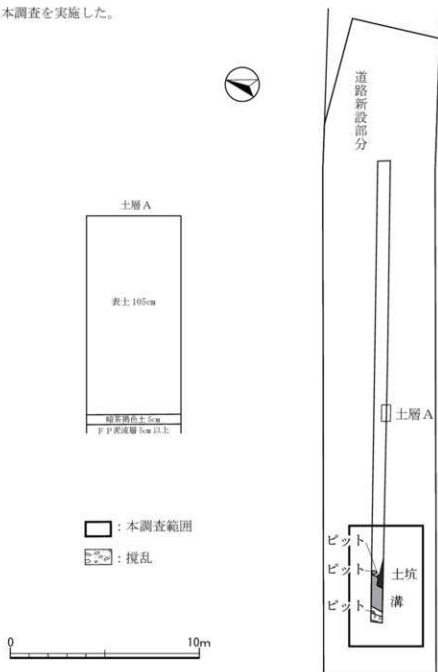
- ① 所在地 太田市岩松町地内 (区画道路)
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを2本設定し、黄褐色砂質土まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物とも確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第68図 確認調査平面図・断面図

48 東部地区遺跡群 (R2N.792)

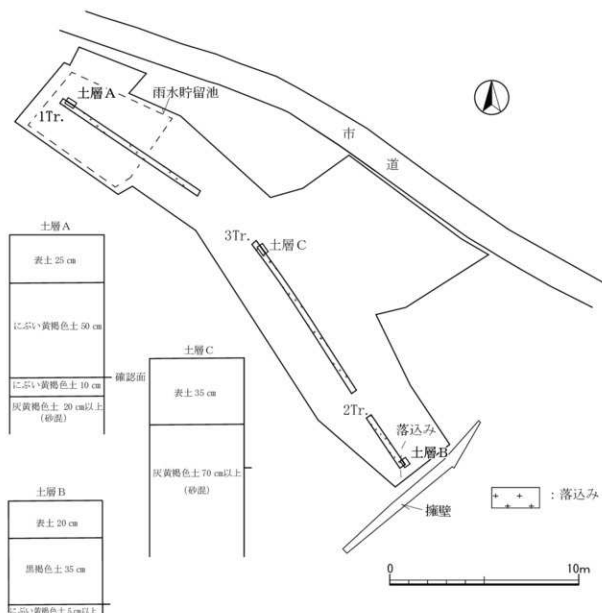
- ① 所在地 太田市堀口町地内 (区画道路)
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを1本設定し、F P泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条、土坑1基、ビット3基が確認されたが、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構が壊される部分について、本調査を実施した。



第69図 確認調査平面図・断面図

49 諏訪山古墳群 (R2No.371)

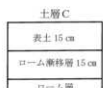
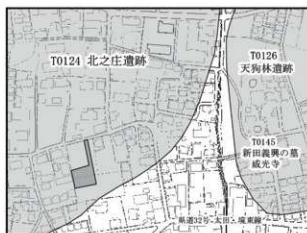
- ① 所在地 太田市藪塚町 3566-1、3570-1、3572-1
- ② 調査原因 露天資材置場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを3本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物とも確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



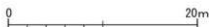
第70図 確認調査平面図・断面図

50 北之庄遺跡 (R2No.698)

- ① 所在地 太田市由良町 1693-2 の一部、
-4
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北
方向にトレンチを3本設定し、ルーム層ま
で掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影
を行った。
- ④ 調査結果 井戸1基、溝2条、土坑11基、
ビット4基が確認され、中・近世の土器片
が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法の
ため、本調査の必要はないと判断される。



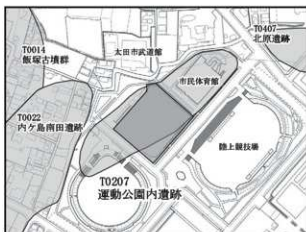
: 視乱



第71図 確認調査平面図・断面図

51 運動公園内遺跡 (R2No.867)

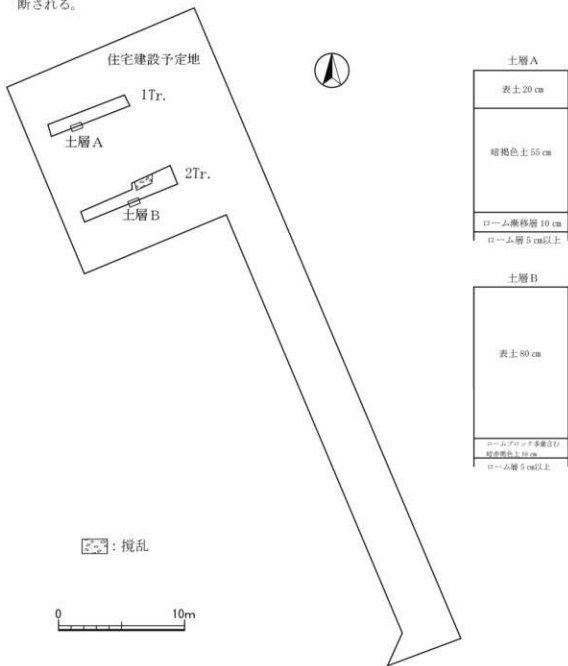
- ① 所在地 太田市飯塚町 1059-1
- ② 調査原因 市民体育館
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条、土坑2基が確認され、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構のため、本調査の必要はないと判断される。



第72図 確認調査平面図・断面図

52 堀廻遺跡 (R2No.800)

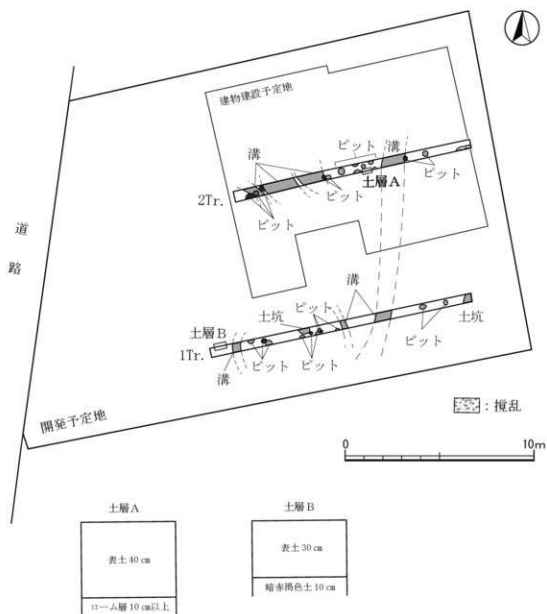
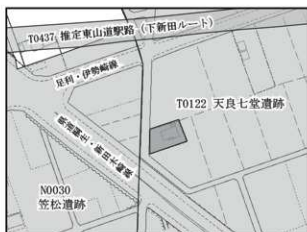
- ① 所在地 太田市新田小金井町 1665-5、-7
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物とも確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第73図 確認調査平面図・断面図

53 天良七堂遺跡 (R2No.516)

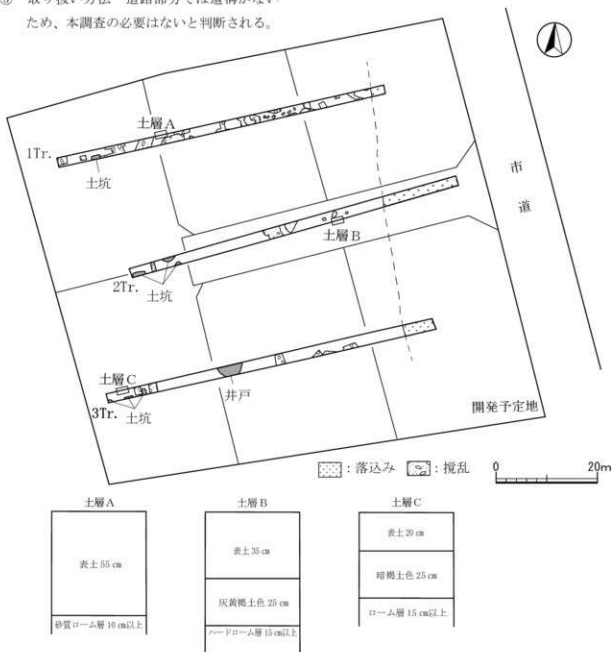
- ① 所在地 太田市新田小金井町 1501-3
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを2本設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝6条、土坑2基、ピット24基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第74図 確認調査平面図・断面図

54 宿裏遺跡 (R2No.593)

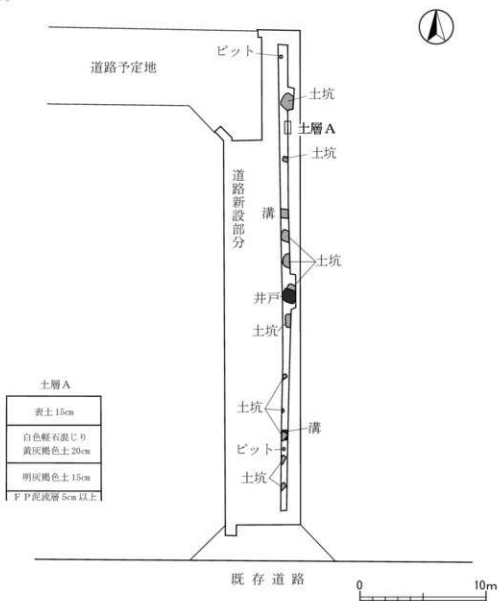
- ① 所在地 太田市東金井町 1036-1、1037-1
- ② 調査原因 宅地分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 井戸1基、土坑7基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 道路部分では遺構がないため、本調査の必要はないと判断される。



第75図 確認調査平面図・断面図

55 東部地区遺跡群 (R2No.895)

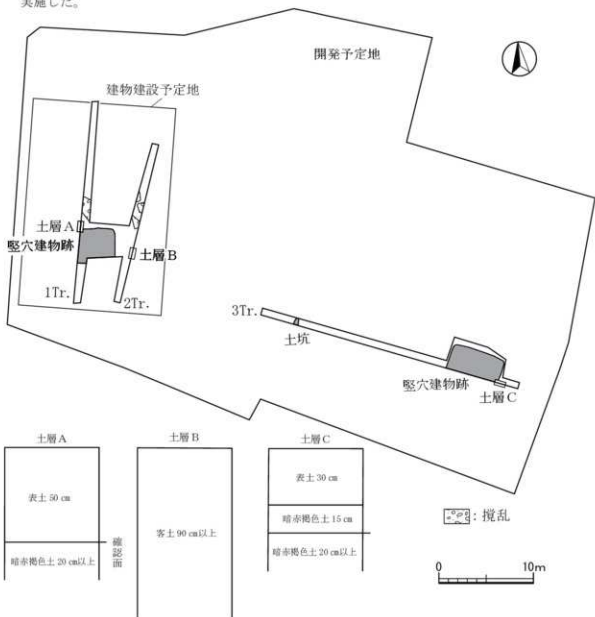
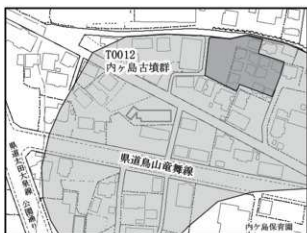
- ① 所在地 太田市阿久津町地内 (区画道路)
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを1本設定し、F P 泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 井戸1基、溝2条、土坑11基、ビット2基が確認され、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構は一部記録し、それ以外は近世以降のため、本調査の必要はないと判断される。



第76図 確認調査平面図・断面図

56 内ヶ島古墳群 (R2No.817)

- ① 所在地 太田市内ヶ島町 868-3、-4、872-1、873-3
- ② 調査原因 工場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを3本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡2軒、土坑1基が確認され、古墳時代前期の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響がある部分について、R3年度、建物建築時に立会調査を実施した。



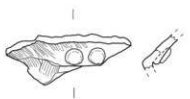
第77図 確認調査平面図・断面図

出土遺物 (1Tr.)



1

出土遺物 (1Tr.)



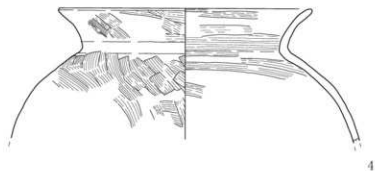
2

出土遺物 (1Tr.)



3

出土遺物 (1Tr.)



4

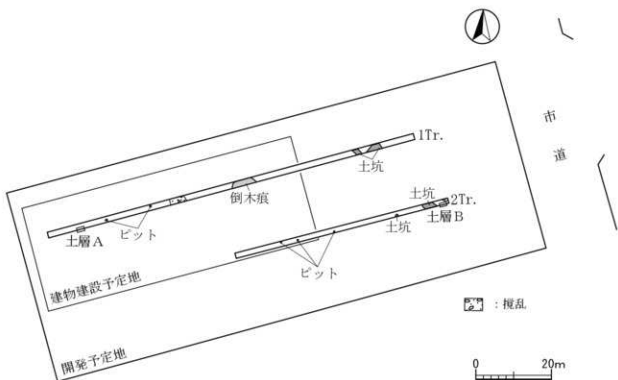


番号	器種	法量 (cm) (推定)	①構成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径: (24.0) 底径: — 器高: —	①普通 ②にふい焼 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部～頸部破片	外面 二重口縁。頸部ナメメハケ後、横位に粘土線を貼り付ける。口唇部～横位粘土線にかけてはヘラミガキ。3条の粘土線を貼り付け、棒状浮文を施す。 内面 口縁部～頸部横位及びナメメハケ後、ヘラミガキ。	
2	土師器 壺	口径: — 底径: — 器高: —	①普通 ②にふい焼 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部～頸部破片	外面 二重口縁。頸部ナメメハケ後、横位に粘土線を貼り付ける。横位粘土線より上部は内形浮文を施した後、ヘラミガキ。	
3	土師器 壺	口径: (14.8) 底径: — 器高: —	①普通 ②にふい焼 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部～頸部破片	外面 口縁部折り返し後、ヨコナデ。頸部ナメメハケ。 内面 口縁部～頸部ヨコハケ及びナメメハケ後、ヘラミガキ。	
4	土師器 台付壺	口径: (20.0) 底径: — 器高: —	①普通 ②透明赤焼 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部～頸部破片	外面 口縁部～胴部ヨコハケ及びナメメハケ後、頸部ヨコナデ。 内面 口縁部～体部ヨコハケ及びナメメハケ。	

第78図 出土遺物実測図

57 花園遺跡 (R2No.562)

- ① 所在地 太田市新田木崎町 200-6
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑4基、ピット5基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



土層 A

表土 35 cm
にふい黄褐色土 15 cm (白色軽石含)
ローム薄移層 10 cm
ローム層

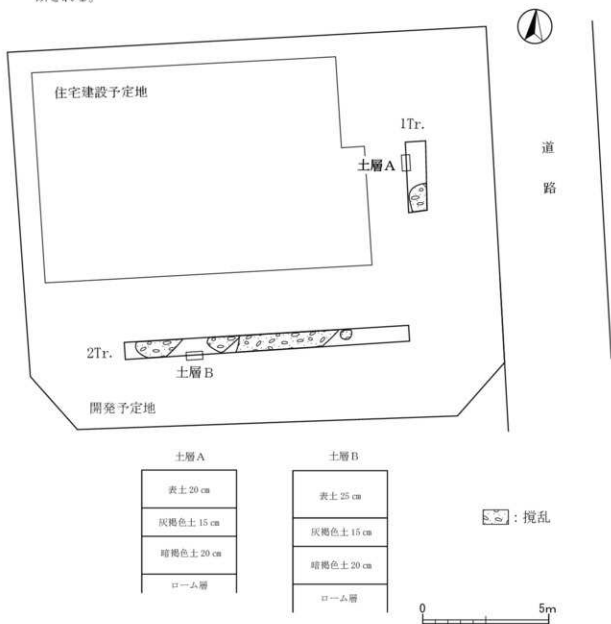
土層 B

表土 35 cm
灰黄褐色土 10 cm (白色軽石含)
暗褐色土 15 cm
ローム薄移層 10 cm
ローム層

第79図 確認調査平面図・断面図

58 天良七堂遺跡 (R2No.932)

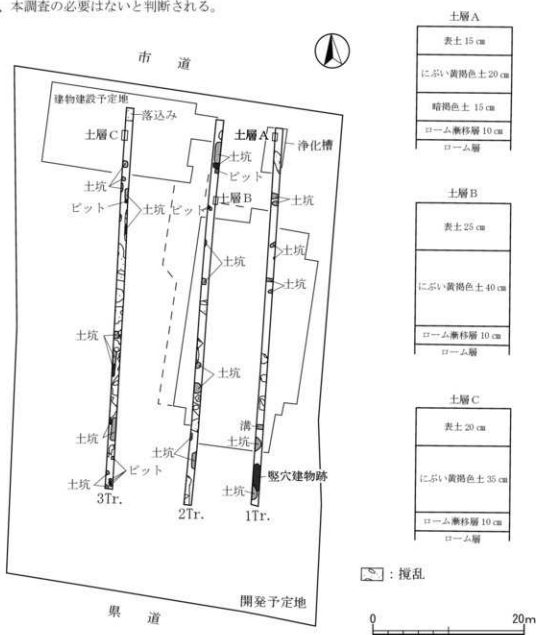
- ① 所在地 太田市天良町 124-1、-2、-3
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物とも確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第80図 確認調査平面図・断面図

59 龍舞落打遺跡 (R2No.81)

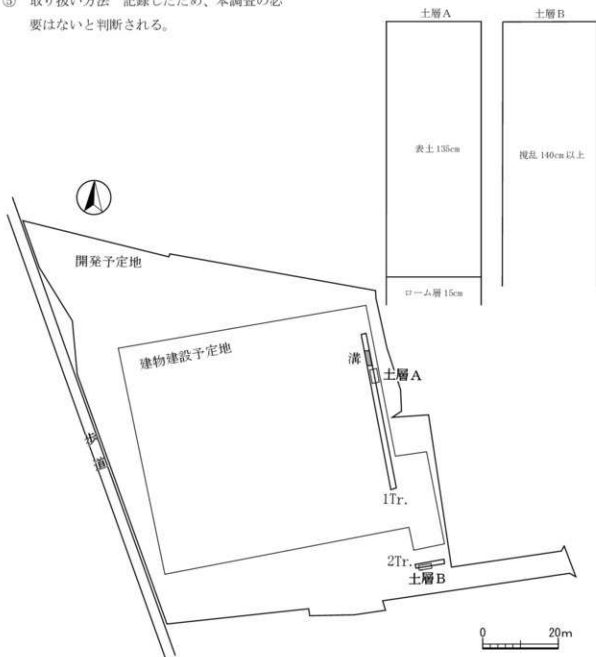
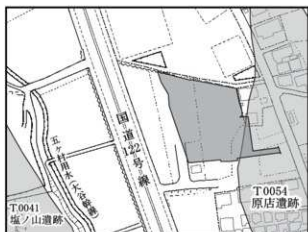
- ① 所在地 太田市龍舞町 2004-1
- ② 調査原因 介護施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 堅穴建物跡1軒、溝1条、土坑28基、ピット8基が確認され、縄文、古墳平安時代及び近世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第81図 確認調査平面図・断面図

60 原店遺跡 (R2No.1051)

- ① 所在地 太田市東金井町 880-1、-2、-3、884-5、886、888-1、893-1地先
- ② 調査原因 倉庫、事務所
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条が確認され、古墳時代から平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 記録したため、本調査の必要はないと判断される。



第82図 確認調査平面図・断面図

61 房塚遺跡 (R2No.915)

- ① 所在地 太田市内ヶ島町600-2
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡5軒、土坑12基、ピット4基が確認され、縄文、古墳、奈良・平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

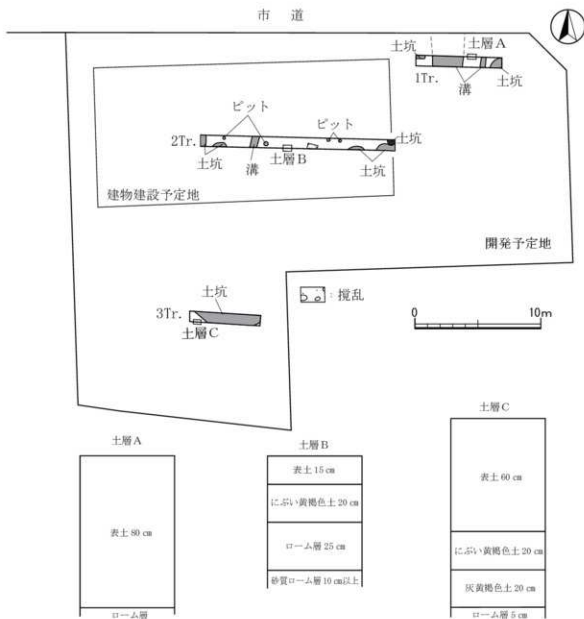


番号	器種	法量 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径: 12.5 底径: - 器高: 6.2	①普通 ②赤褐色 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④2/3残存	外面 口縁部ヨコナゲ、体部～底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナゲ、体部～底部ナゲ。	

第83図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

62 浜町遺跡 (R2No.741)

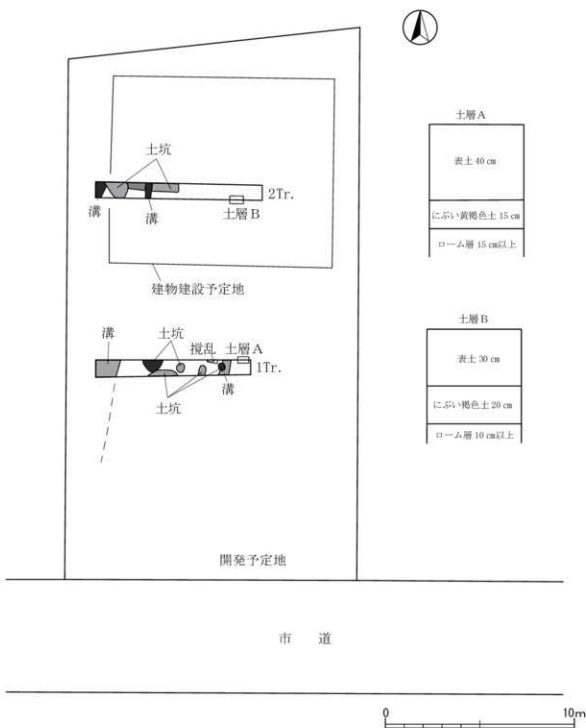
- ① 所在地 太田市浜町 22-2 (29 街区 3)
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り上げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝3条、土坑8基、ビット4基が確認され、中世から近世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第84図 確認調査平面図・断面図

63 浜町遺跡 (R2No.980)

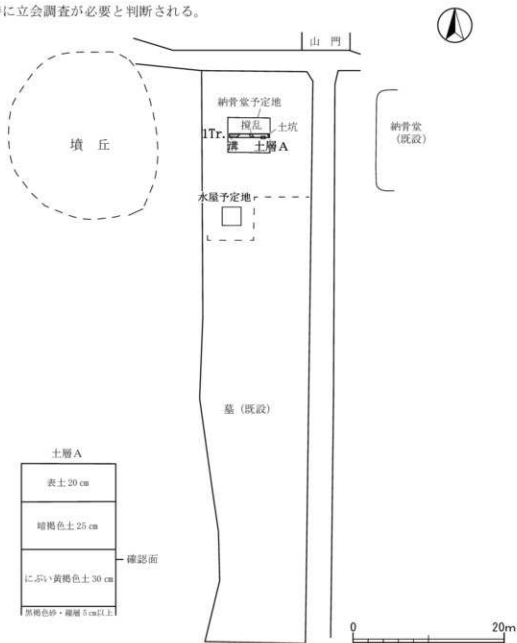
- ① 所在地 太田市浜町 22-28 (28 街区 3-1)
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを 2 本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 4 条、土坑 7 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第85図 確認調査平面図・断面図

64 西長岡宿古墳群 (R2No.757)

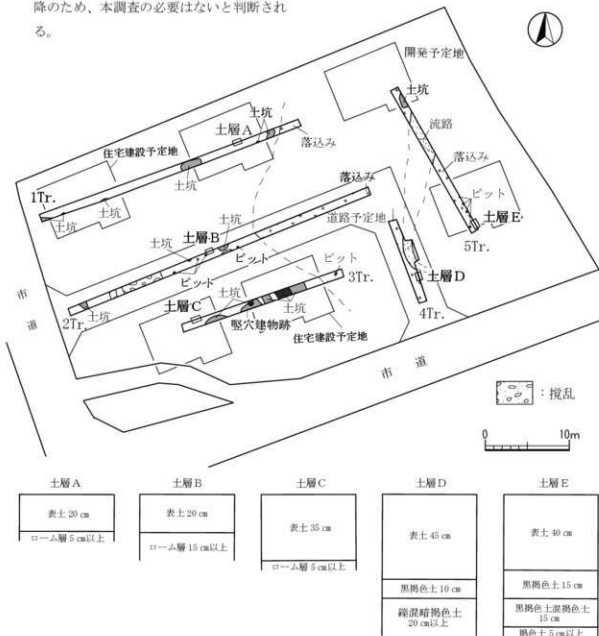
- ① 所在地 太田市西長岡町 705-1、707、707-2 (707 の一部)
- ② 調査原因 納骨堂・水屋
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを1本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条、土坑1基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、建物建築時に立会調査が必要と判断される。



第86図 確認調査平面図・断面図

65 萩林遺跡 (R2No.999)

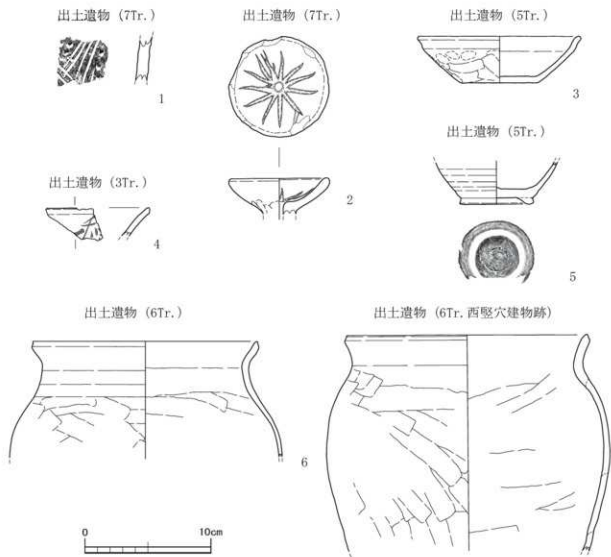
- ① 所在地 太田市藪塚町 1233-2
- ② 調査原因 宅地分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを5本設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡1軒、土坑15基、ピット9基が確認され、奈良・平安時代、中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 道路部分の遺構は近世以降のため、本調査の必要はないと判断される。



第87図 確認調査平面図・断面図

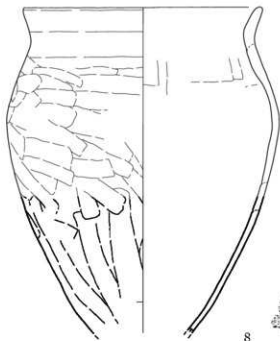
66 東別所西原遺跡 (R2No.881)

- ① 所在地 太田市東別所町 209、210-1、-2、216-6、330-2、-3、338-1 の各一部、216-4、-5、-7、329-2
- ② 調査原因 共同住宅、宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを 8 本設定し、ルーム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 16 軒、溝 8 条、土坑 11 基、ピット 6 基が確認され、埴輪片や古墳、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 道路建設部分について、R3 年度本調査を実施した。

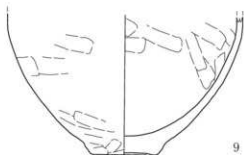


第88図 出土遺物実測図

出土遺物 (6Tr.)

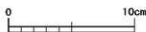
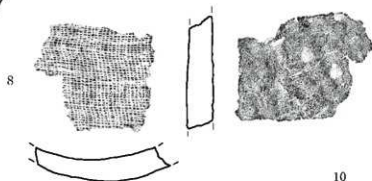


出土遺物 (6Tr.)



9

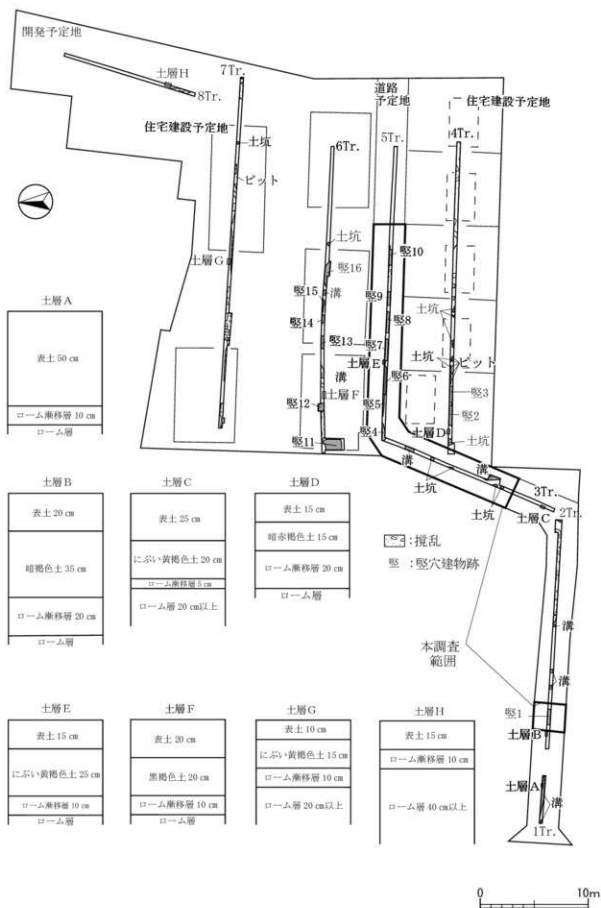
出土遺物 (3Tr.)



10

番号	器種	法量 [cm] (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	縄文土器 深鉢	口徑：— 底径：— 器高：—	①解部 ②にぶい・橙 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④胴部破片	半籠竹管により削突文と刻位の平行紋線を施す。	縄文前期後半
2	土師器 器内	口徑：8.0 底径：— 器高：—	①普通 ②明褐色 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④器受部のみ	外面 口縁部ヨコナダ。器受部下縁には脚部接合時の指通座敷明線に由来。 内面 口縁部ヨコナダ。器受部底面の貫通孔を中心に放射状に線刻を施す。	
3	土師器 埴	口徑：(13.0) 底径：(6.0) 器高：3.7	①普通 ②明褐色 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④1/3残存	外面 口縁部ヨコナダ。体部上半指頭圧痕。体部下半へラケズリ。 内面 口縁部ヨコナダ。体部へラケズリ。	
4	土師器 埴	口徑：(10.0) 底径：— 器高：—	①普通 ②明赤褐色 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部へラケ破片	外面 口縁部ヨコナダ。体部に「目」の墨書。 内面 口縁部ヨコナダ。	
5	須恵器 高台付埴	口徑：— 底径：5.9 器高：—	①酸化気味 ②にぶい・黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④底部のみ	ロタロ型形。底部高台貼り付け後、ナダ調整。	
6	土師器 埴	口徑：(18.0) 底径：— 器高：—	①普通 ②明褐色 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部へラケ部1/2残存	外面 口縁部へラケ部ヨコナダ。胴部へラケズリ。 内面 口縁部へラケ部ヨコナダ。胴部へラケズリ。	
7	土師器 埴	口徑：(19.4) 底径：— 器高：—	①普通 ②にぶい・橙 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部へラケ部1/2残存	外面 口縁部へラケ部ヨコナダ。胴部へラケズリ。 内面 口縁部へラケ部ヨコナダ。胴部へラケズリ。	
8	土師器 埴	口徑：19.0 底径：— 器高：—	①普通 ②にぶい・黄褐色 ③チャート・石英・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④1/2残存	外面 口縁部へラケ部ヨコナダ。胴部へラケズリ。 内面 口縁部へラケ部ヨコナダ。胴部へラケズリ。	
9	土師器 埴	口徑：— 底径：4.8 器高：—	①普通 ②赤褐色 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④1/3残存	外面 胴部へラケ部ヨコナダ。 内面 胴部へラケ部ヨコナダ。	
10	瓦 平瓦	長さ：— 幅：— 厚さ：2.1	①酸化気味 ②にぶい・黄褐色 ③チャート・長石・白色粒・黒色粒 ④破片	両面 布目。 凸面 へラケナダ。	

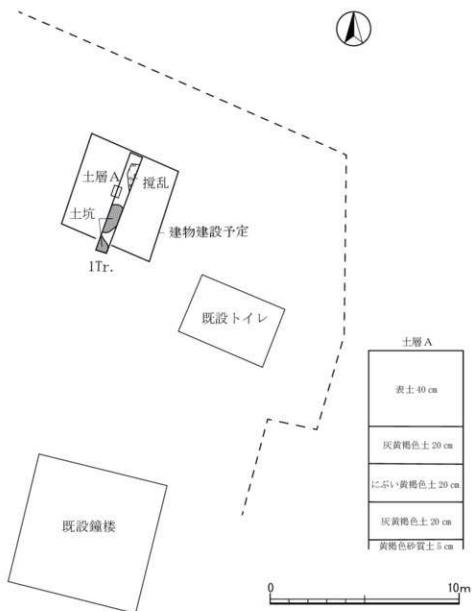
第89図 出土遺物実測図



第90図 確認調査平面図・断面図

67 安養寺森ノ内遺跡（安養寺館跡）(R2 No.1136)

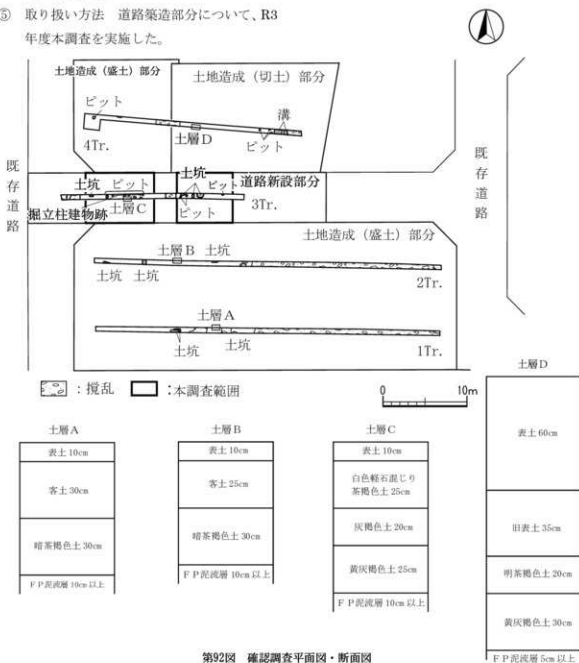
- ① 所在地 太田市安養寺町 199-9
- ② 調査原因 東屋
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを1本設定し、黄褐色砂質土まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑2基が確認され、中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第91図 確認調査平面図・断面図

68 東部地区遺跡群 (R2No.1165)

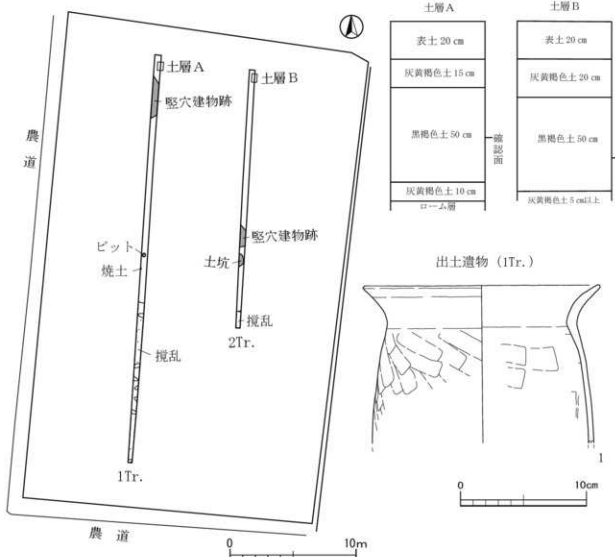
- ① 所在地 太田市阿久津町ほか地内(区画道路ほか)
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを4本設定し、F P泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑10基、ピット15基が確認され、縄文時代、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 道路築造部分について、R3年度本調査を実施した。



第92図 確認調査平面図・断面図

69 中道西遺跡 (R2No.977)

- ① 所在地 太田市藤久町 134
- ② 調査原因 太陽光発電施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に南北方向にトレンチを2本設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡2軒、土坑1基、ビット1基が確認され、奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

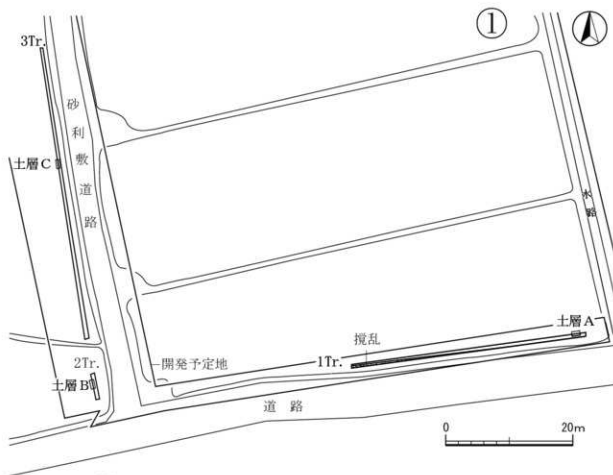
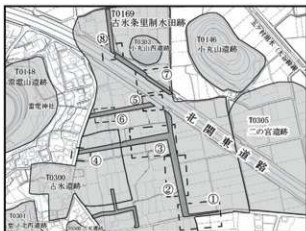


番号	器種	法量 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径: (18.8) 底径: 二 器高: 一	①青褐色 ②に濃い緑 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部破片	外面 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラタズリ。 内面 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	

第93図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

70 古水条里制水田跡、古氷遺跡 (R2No. 1216)

- ① 所在地 太田市緑町地内
- ② 調査原因 ほ場整備
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西・南北方向にトレンチを17本設定し、灰色粘質土を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑3基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 R3年度も調査継続中。



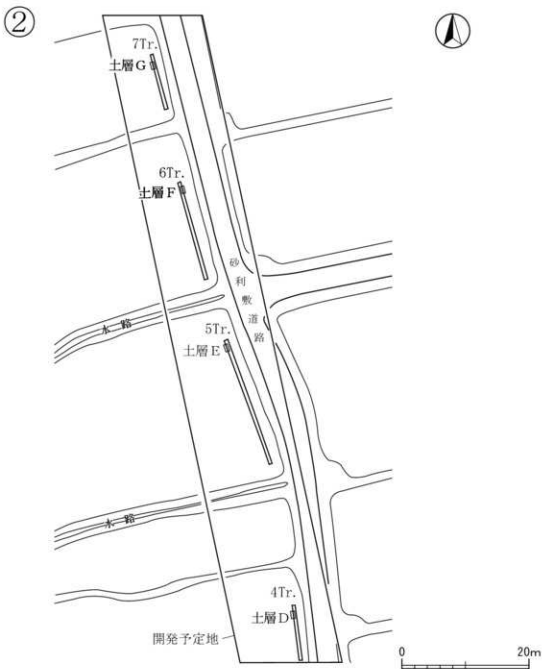
土層 A	
表土 15 cm	
黄褐色土 5 cm	
黒褐色粘質土 15 cm	
灰色粘質土 10 cm	
黄褐色粘質土 10 cm以上	

土層 B	
表土 15 cm	
灰色砂質土 As-B 多量 15 cm	
暗灰色砂質土 As-B 多量 5 cm以上	

土層 C	
表土 25 cm	
灰色砂質土 As-B 多量 15 cm	
暗灰色砂質土 As-B 多量 15 cm	
灰色粘質土 5 cm以上	

※As-B…天仁元
(1108)年 浅間山
噴火時の落下軽石

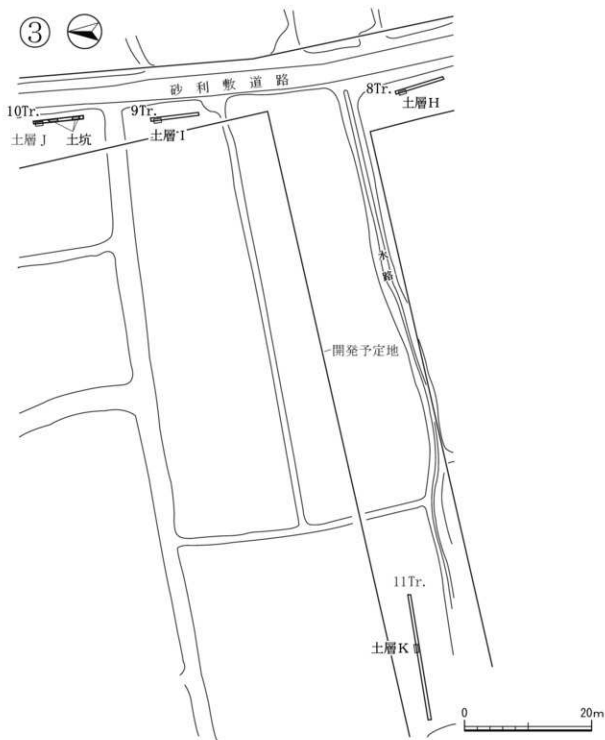
第94図 確認調査平面図・断面図



土層 D	土層 E	土層 F	土層 G
表土 10 cm	表土 25 cm	表土 15 cm	表土 15 cm
灰色砂質土 As-B 多量 20 cm	灰色砂質土 As-B 多量 15 cm	灰色砂質土 As-B 多量 5 cm 暗灰色砂質土 As-B 多量 5 cm	灰色砂質土 As-B 多量 15 cm
暗灰色砂質土 As-B 多量 15 cm	暗灰色砂質土 As-B 多量 5 cm As-B 純層 1 cm	As-B 純層 10 cm	As-B 純層 15 cm
灰色粘質土 5 cm以上	灰色粘質土 20 cm以上	灰色粘質土 5 cm以上	灰色粘質土 10 cm以上

※As-B…天仁元(1108)年 浅間山
噴火時の降下軽石

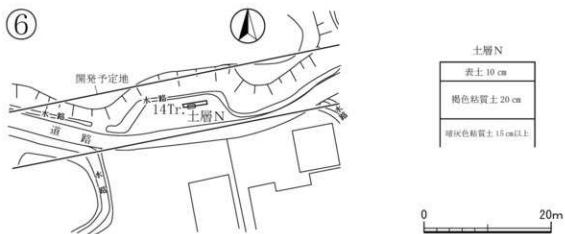
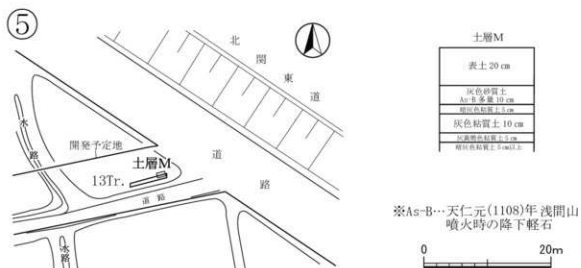
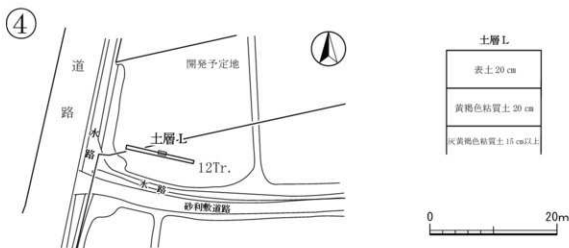
第95図 確認調査平面図・断面図



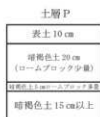
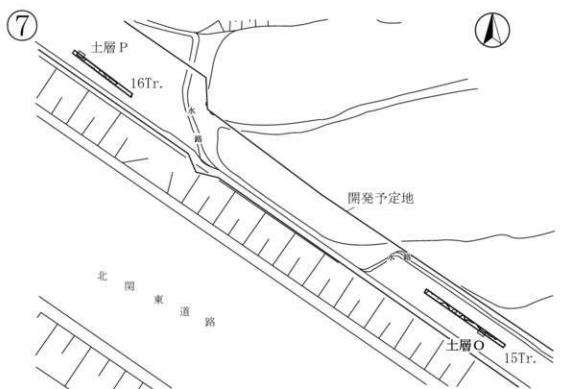
土層H	土層I	土層J	土層K
表土 30 cm	表土 30 cm	表土 10 cm	表土 20 cm
灰黄褐色砂質土 As-B 多量 10 cm	灰色砂質土 As-B 少量 5 cm	灰色砂質土 As-B 中量 15 cm	灰色砂質土 As-B 多量 20 cm
灰色砂質土 As-B 少量 10 cm	灰黄褐色砂質土 As-B 多量 10 cm	灰黄褐色砂質土 As-B 多量 15 cm	暗灰色粘質土 10 cm
As-B 純層 10 cm	As-B 純層 10 cm	灰色粘質土 10 cm以上	灰色粘質土 10 cm
灰色粘質土 5 cm以上	灰色粘質土 5 cm以上		灰黄褐色粘質土 15 cm以上

※As-B…天仁元（1108）年
浅間山噴火時の降下軽石

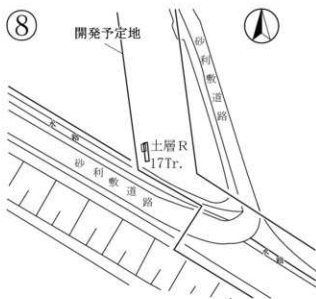
第96図 確認調査平面図・断面図



第97図 確認調査平面図・断面図



☐: 攪乱



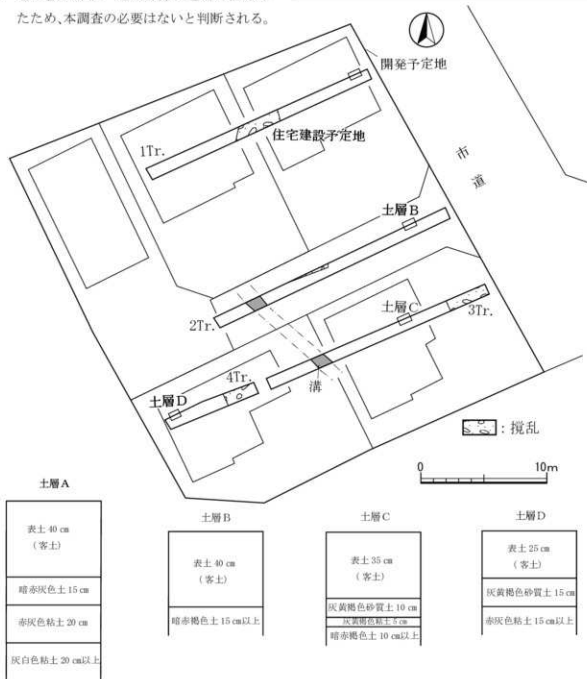
※As-B…天仁元（1108）年
浅間山噴火時の降下軽石



第98図 確認調査平面図・断面図

71 八反田遺跡 (R2No.1107)

- ① 所在地 太田市下浜田町 123-1
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に東西方向にトレンチを4本設定し、暗赤褐色土を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 道路部分の遺構は記録したため、本調査の必要はないと判断される。



第99図 確認調査平面図・断面図

第5章 まとめ

令和2年度における市内遺跡の確認調査は71箇所で行った。遺構が確認されたのは59箇所であり、そのうち7箇所が本調査、2箇所で立会調査となった。残りの49箇所については、現状保存されるか、近世以降の遺構であるため本調査には至らず、1箇所については、調査継続中である。下記特記事項を記載する。

①東今泉鹿島遺跡、鹿島浦遺跡、推定東山道駅路南ルート（12-R2、No.76-26088）

東今泉鹿島遺跡、鹿島浦遺跡、推定東山道駅路南ルートは、北関東自動車道太田桐生インターチェンジに接する位置の遺跡で、倉庫建設が計画されるため確認調査を行い建物基礎部分の本調査を実施した。

本調査の結果、奈良・平安時代等の堅穴建物跡20軒、井戸2基、縄文時代から中世の土坑49基、古墳時代から中近世の溝58条、その他ピット228基、水田跡9箇所、畠跡2箇所、遺物包含層12箇所、道路跡1条が確認され、縄文、奈良・平安時代、中近世の土器片が出土した。

②川向・中西田遺跡（21-R2、No.328-26538）

川向・中西田遺跡は、太田市運動公園から北東方向に約1kmの位置にある遺跡で、宅地造成に伴い確認調査を行い道路建設部分の本調査を実施した。

本調査の結果、平安時代の堅穴建物跡2軒、古墳時代、平安時代の土坑2基、時期不明の土坑1基が確認され、古墳時代や平安時代の土器片が出土した。

③房塚遺跡（42-R2、No.522-26907）

房塚遺跡は、太田市運動公園から北東方向に0.5kmの位置にある遺跡で、建売住宅建設に伴い確認調査を行い道路建設部分の本調査を実施した。

本調査の結果、古墳時代の溝1条が確認され、高坏や埴など古墳時代の土器片が出土した。

④東今泉鹿島遺跡（43-R2、No.218-26317）

東今泉鹿島遺跡は、北関東自動車道太田桐生インターチェンジに接する位置の遺跡で、調整池拡張工事及び倉庫建設が計画されるため確認調査を行い調整池部分及び建物基礎部分の本調査を実施した。

本調査の結果、調整池部分では、奈良時代の堅穴建物跡1軒、古代の掘立柱建物6棟及び柱穴2条、古墳時代から古代の溝7条、縄文時代から古代の土坑24基、その他ピット375基が確認され、土器片、鉄製品、石製品が出土した。

また、建物基礎部分の調査では、平安時代を主体に堅穴建物跡11軒、中世以降の掘立柱建物6棟、井戸12基、縄文時代から中・近世の土坑433基、古代及び中世以降の溝95条、中世の道路状遺構1条、その他ピット1514基、縄文土器などの遺物包含層4箇所が確認され、土器片、石器、石製品、石造物、陶器、陶磁器、かわらけ、瓦、銅製品、鉄製品が出土した。

⑤東部地区遺跡群（48-R2、No.792-27444）

東部地区遺跡群は、県道総貫篠塚線の南で尾島1丁目十字路の南東方面に位置する遺跡で、尾島東部区画整理地内事業の区画道路築造に伴い確認調査及び本調査を実施した。

本調査の結果、溝1条、柱穴2条、土坑墓1基、土坑4基、ピット20基（柱穴列含む）が確認され、人骨や中世の硬貨が出土した。

⑥内ヶ島古墳群 (56-R2, Na817-27492)

内ヶ島古墳群は、内ヶ島町地内で龍舞館林線上に位置する遺跡で、工場建設に伴い確認調査及び立会調査を実施した。確認調査では、二重口縁壺片などが出土したが、立会調査の結果、掘乱により遺構は確認出来なかった。

⑦西長岡宿古墳群 (64-R2, Na757-27358)

西長岡宿古墳群は、西長岡町地内の長岡寺を含む遺跡で、納骨堂建設に伴い確認調査を実施し立会調査となった。確認調査では、折返し口縁土器片が出土した。立会調査予定だが未実施。

⑧東別所西原遺跡 (66-R2, Na881-27609)

東別所西原遺跡は、国道354号線の北で太田市運動公園から南に0.7kmに位置する遺跡で、共同住宅の建築及び宅地造成に伴い確認調査を行い道路建設部分の本調査を実施した。

本調査の結果、古墳1基、奈良・平安時代の竪穴建物跡16軒、井戸2基、土坑6基、ピット4基、中・近世の溝6条、土坑3基、時期不明の竪穴建物跡2軒、井戸1基、土坑8基、ピット1基が確認され、埴輪片や古墳時代、奈良・平安時代、中・近世の土器片8箱が出土した。

⑨東部地区遺跡群 (68-R2, Na1165-28188)

東部地区遺跡群は、県道納貫線南の南で尾島1丁目十字路の南東方面に位置する遺跡で、尾島東部区画整理地内事業に伴い確認調査を行い区画道路部分の本調査を実施した。

本調査の結果、中世以降の掘立柱建物跡4棟、ほか土坑14基、ピット64基が確認された。

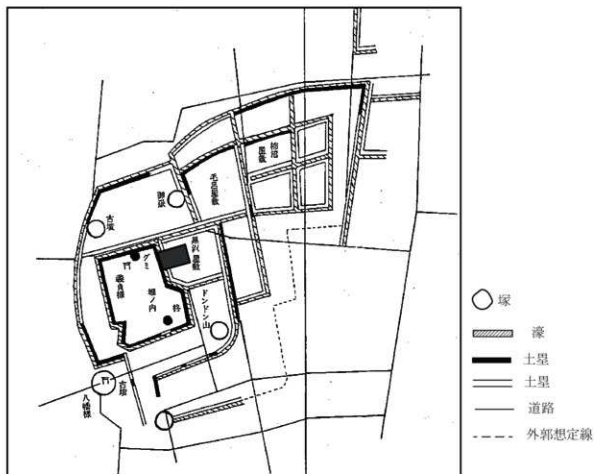
以上本調査や立会調査に至ったものを挙げた。その他、以下列挙する。

上江田城館跡(2-R2, Na13-25982)では、調査地が黒沢屋敷内(図100)にあたる箇所であったが中世に関するものは確認出来なかった。五庵遺跡(13-R2, Na105-26126)の調査では、高盤が出土した。寺ヶ入古墳群(22-R2, Na119-26152)の調査では、2トレンチ部分が寺ヶ入遺跡古墳分布想定図(図101)の古墳の位置にあたり、竪穴の埴輪片が出土した。駒形神社埴輪窯跡(34-Na51-26044)の調査では、形象埴輪片や円筒埴輪片が多数出土した。宿裏遺跡(45-Na355-26592)の調査では、縄文時代前期の竪穴建物跡が確認され黒浜式や諸磯式土器片が出土した。

八反田遺跡(71-Na1107-28076)の調査で確認された溝は、国道354号線の調査で検出された溝と同一と思われる推定東山道駅路(武蔵道)の道路側溝跡と考えられる(図102)。

【参考文献】

- 1986『新田町誌・第2巻 資料編』新田町誌刊行委員会、新田町
島田孝雄ほか 1992『寺ヶ入遺跡発掘調査報告書Ⅱ』太田市教育委員会
須田正久ほか 2005『八反田遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財事業団



第100図 昭和14年の江田城復元略図



第101図 寺ヶ入遺跡古墳分布想定図



第102図 推定東山道駅路（武蔵路）

確認調査写真



1 R 2-№12
FP 泥流下遺跡群 (南から)



2 R 2-№13
上江田城館跡 (西から)



3 R 2-№14
天良七堂遺跡 (西から)



4 R 2-Na15
東別所遺跡 (西から)



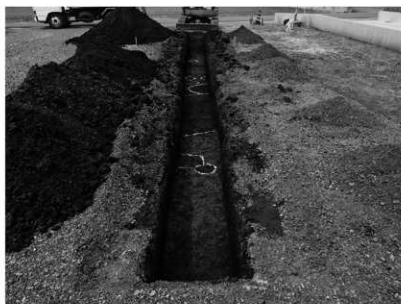
5 R 2-Na50
寺中遺跡 (北から)



6 R 2-Na56
東部地区遺跡群 (南から)



7 R 2 - No72
長福寺遺跡 (東から)



8 R 2 - No57
要害遺跡 (東から)



9 R 2 - No99
浜町遺跡 (北から)



10 R 2-No71
土遺跡 (西から)



11 R 2-No102
東部地区遺跡群 (西から)



12 R 2-No76
東今泉鹿島遺跡、鹿島浦遺跡、推定東山道
南ルート (南から)



13 R 2 - No105
五庵遺跡（南から）



14 R 2 - No110
柏川山之神遺跡（北から）



15 R 2 - No111
柏川山之神遺跡（南東から）



16 R 2-№139
FP 泥流下遺跡群 (南から)



17 R 2-№146
村上遺跡 (南から)



18 R 2-№253
上遺跡 (東から)



19 R 2 - No190
飯塚古墳群 (南西から)



20 R 2 - No177
新堀遺跡 (西から)



21 R 2 - No328
川向・中西田遺跡 (東から)



22 R 2-№119
寺ヶ入古墳群（北から）



23 R 2-№279
推定東山道駅路南ルート（南西から）



24 R 2-№53
飯塚古墳群、条里制水田想定地（東から）



25 R 2 - No.49
FP 泥流下遺跡群 (西から)



26 R 2 - No.379
FP 泥流下遺跡群 (東から)



27 R 2 - No.375
八反田遺跡 (北から)



28 R 2 - No202
飯塚古墳群、条里制水田想定地（南から）



29 R 2 - No535
梁場道跡（東から）



30 R 2 - No506
新島道跡（北東から）



31 R 2 - No251
細谷東遺跡、細谷八幡遺跡（北から）



32 R 2 - No582
道原遺跡（西から）



33 R 2 - No249
梁場遺跡（東から）



34 R 2-No51
駒形神社埴輪窯跡（南から）



35 R 2-No574
天良七堂遺跡（東から）



36 R 2-No515
東部地区遺跡群（東から）



37 R 2 - No.500
目塚遺跡 (南から)



38 R 2 - No.589
入谷遺跡 (西から)



39 R 2 - No.551
宮元遺跡 (西から)



40 R 2-No237
反町城館跡（北から）



41 R 2-No641
古戸赤城遺跡（北から）



42 R 2-No522
房塚遺跡（西から）



43 R 2 -No.218
東今泉鹿島遺跡（北から）



44 R 2 -No.354
東今泉鹿島遺跡（北から）



45 R 2 -No.355
宿裏遺跡（南から）



46 R 2-No.658
FP 泥流下遺跡群（北から）



47 R 2-No.560
東部地区遺跡群（東から）



48 R 2-No.792
東部地区遺跡群（西から）



49 R 2 -No.371
諏訪山古墳群（南東から）



50 R 2 -No.698
北之庄遺跡（東から）



51 R 2 -No.867
運動公園内遺跡（北から）



52 R 2-No.800
堀廻遺跡（東から）



53 R 2-No.516
天良七堂遺跡（西から）



54 R 2-No.593
宿裏遺跡（東から）



55 R 2-No.895
東部地区遺跡群（南から）



56 R 2-No.817
内ヶ島古墳群（東から）



57 R 2-No.562
花園遺跡（東から）



58 R 2-No.932
天良七堂遺跡（東から）



59 R 2-No.81
龍舞落打遺跡（北から）



60 R 2-No.1051
原店遺跡（北から）



61 R 2 -No.915
房塚遺跡 (北から)



62 R 2 -No.741
浜町遺跡 (西から)



63 R 2 -No.980
浜町遺跡 (東から)



64 R 2-No.757
西長岡宿古墳群（東から）



65 R 2-NO.999
萩林遺跡（西から）



66 R 2-No.881
東別所西原遺跡（西から）



67 R 2-No.1136
安養寺森ノ内遺跡（安養寺館跡）（南西から）



68 R 2-No.1165
東部地区遺跡群（東から）



69 R 2-No.977
中道西遺跡（北から）

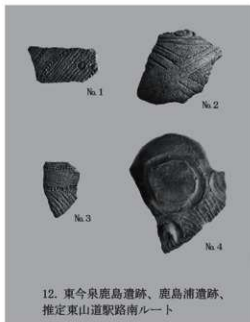


70 R 2-No.1216
古米条里制水田跡（西から）



71 R 2-No.1107
八反田遺跡（南西から）

出土遺物写真





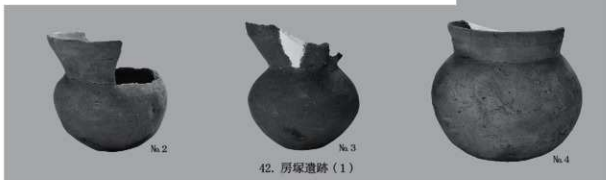
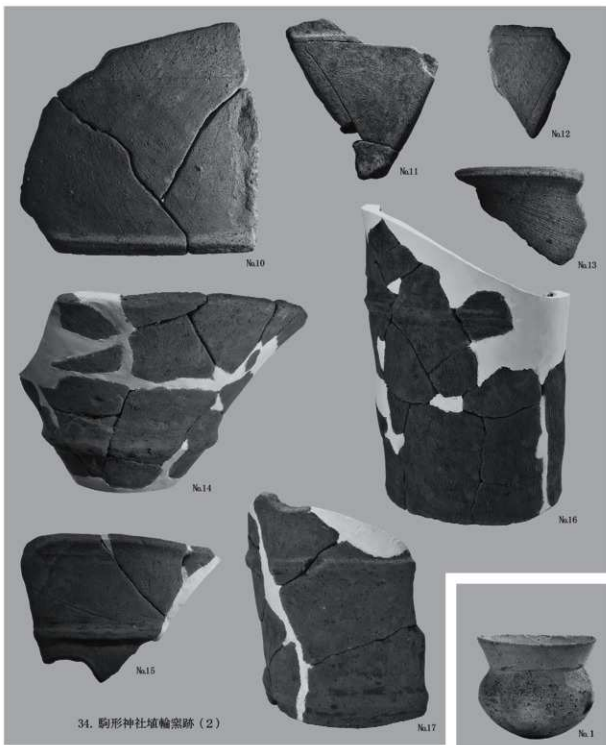
22. 寺ヶ入古墳群(2)

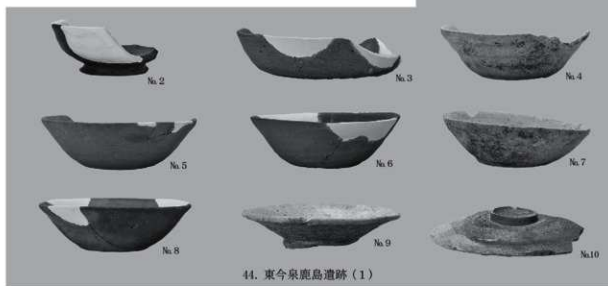


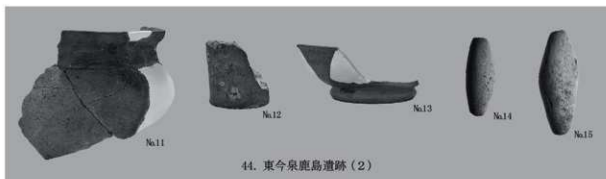
33. 梁場遺跡



34. 駒形神社埴輪窯跡(1)







44. 東今泉鹿島遺跡(2)



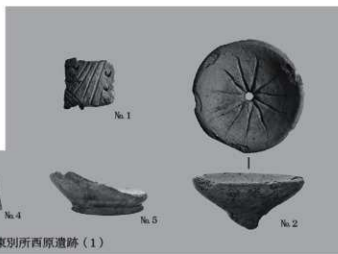
45. 宿裏遺跡



56. 内ヶ島古墳群



61. 房塚遺跡



66. 東別所西原遺跡(1)



報告書抄録

フリガナ	オオタシナイイセキ17
書名	太田市内遺跡17
副書名	令和2年度調査
巻次	—
シリーズ名	—
シリーズ巻名	市内遺跡
編集著者名	長谷川幸男
編集機関	太田市教育委員会
編集機関所在地	〒370-0495 群馬県太田市粕川町520 TEL.0276-20-7090
発行年	令和4年3月18日
所収遺跡	太田市内遺跡71箇所（詳細は調査地一覧表に記載）

太田市内遺跡 17

—令和2年度調査—

令和4年3月11日 印刷

令和4年3月18日 発行

編集・発行 群馬県太田市教育委員会

群馬県太田市粕川町520

電話 0276-20-7090

印刷 朝日印刷工業株式会社